

**長野県民の結婚・出産・子育て
に関する意識調査**

報告書

令和5年8月

長野県将来世代応援県民会議

目次

1. 調査概要	1
(1) 調査目的	1
(2) 調査設計	1
(3) 回答者基本属性	1
(4) 回答者の結婚等に対する意向・実態	1
2. 調査結果	2
(1) 婚姻状況	2
問4 現在の婚姻状況	2
(2) 独身者の結婚に対する意識	2
問5 結婚意向	2
問6 結婚を考えたときに気になること	6
問7 独身でいる理由	9
問8 適当な相手にめぐり会わない理由	13
問9 「婚活」として行っている、今後行いたいこと	15
問10 「婚活」を行っていない理由	18
(3) 既婚者の結婚生活の状況	19
問11 夫婦が知り合ったきっかけ	19
(4) 働き方に関する現状	20
問12 就労状況	20
(5) 出産や子育てに関する意識と現状	23
問13 子どもの人数（現在・理想・予定）	23
問14 持つつもりの子どもの数が、理想の子どもの数より少ない理由	28
問15 2人、3人と育てるために必要なこと	30
問16 子どもを希望しない理由	36
問17 親との同居／別居	38
問18 親からの子育ての手助けの状況	38
問19 利用した制度・施設	40
問20 家庭内での未就学児の子育て支援	41
問21 結婚・子育て支援や若者支援の認知度	42
問22 結婚意向への新型コロナウイルス感染症の影響	43
問23 結婚について影響を与えた要因	44
問24 出産意向への新型コロナウイルス感染症の影響	45
問25 出産について影響を与えた要因	46
問26 結婚・子育て・若者支援に関する意見・要望	47
附属資料（調査票）	53

<報告書の見方>

- 調査結果の数値は、回答率（%：パーセント）で表示している。回答がない場合には、0.0 の表示は省略している。
- 母数はその質問項目に該当する回答者の総数であり、その数はnで示している。
- nが30未満の結果については、サンプル数が少ないため、参考値扱いとなる。
- %の数値は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位までを表示している。このため各回答の数値の合計が100%とならない場合がある。
- 回答は、単数回答（回答は1つ）の場合と複数回答（回答はいくつでも）の場合、数値を記入する場合とがある。複数回答の問の場合には、その回答割合（%）の合計は100%を超えることがある。
- 比率の差を比較して統計的に有意な差（有意水準5%）がある結果を中心にコメントを記載している。

■検定・ポイント差情報	
比率の差の検定 対 TOTAL 行と比較した結果を数表に表示 ※経年比較の場合は、対令和5年度調査(今回調査)と比較	有意水準 5%で高い
	有意水準 5%で低い

- 女性18～34歳の結果を記載しているところは、「希望出生率」の算出根拠となる間である。「希望出生率」とは、若い世代における、結婚、妊娠・出産、子育てに関する希望が叶うとした場合に想定される出生率を指し、以下の式によって算出される。

$$\begin{aligned} \text{希望出生率} &= (\text{女性18～34歳の有配偶者割合} \times \text{夫婦の予定する子どもの数} \\ &+ \text{女性18～34歳の独身者割合} \times \text{独身者のうち結婚を希望する者の割合} \\ &\times \text{独身者の希望する子どもの数}) \\ &\times \text{離死別等の影響} \end{aligned}$$

1. 調査概要

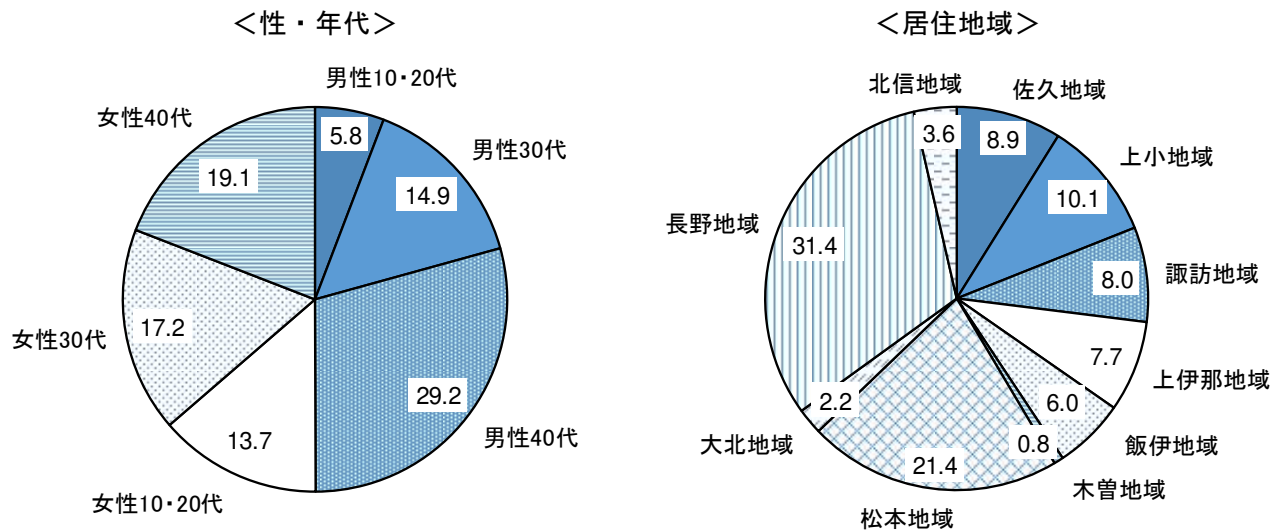
(1) 調査目的

長野県民の結婚・出産・子育てに対する意識や希望を調査し、「長野県将来世代応援県民会議」における事業の方向性の決定や「しあわせ信州創造プラン 3.0」、「長野県子ども・若者支援総合計画 (R5～9)」等の評価指標の検証に活用する。

(2) 調査設計

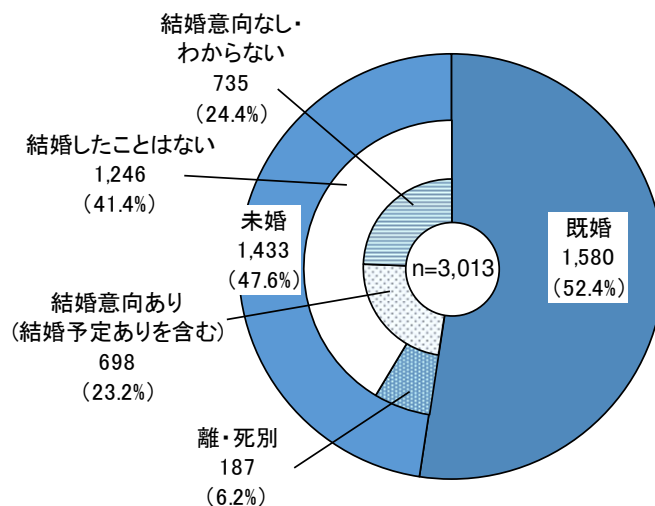
調査方法	インターネット調査
調査対象	以下の条件に該当する者を、インターネットモニターより抽出した。 <対象者条件> ・性別・年齢：18～49歳男女 ・居住地域：長野県 ・長野県の性・年代構成に可能な限り近くなるように回収を行う。
有効回収数	3,013
調査実施時期	令和5年6月16日～令和5年6月26日

(3) 回答者基本属性



※いずれも n=3,013 単位 (%)

(4) 回答者の結婚等に対する意向・実態

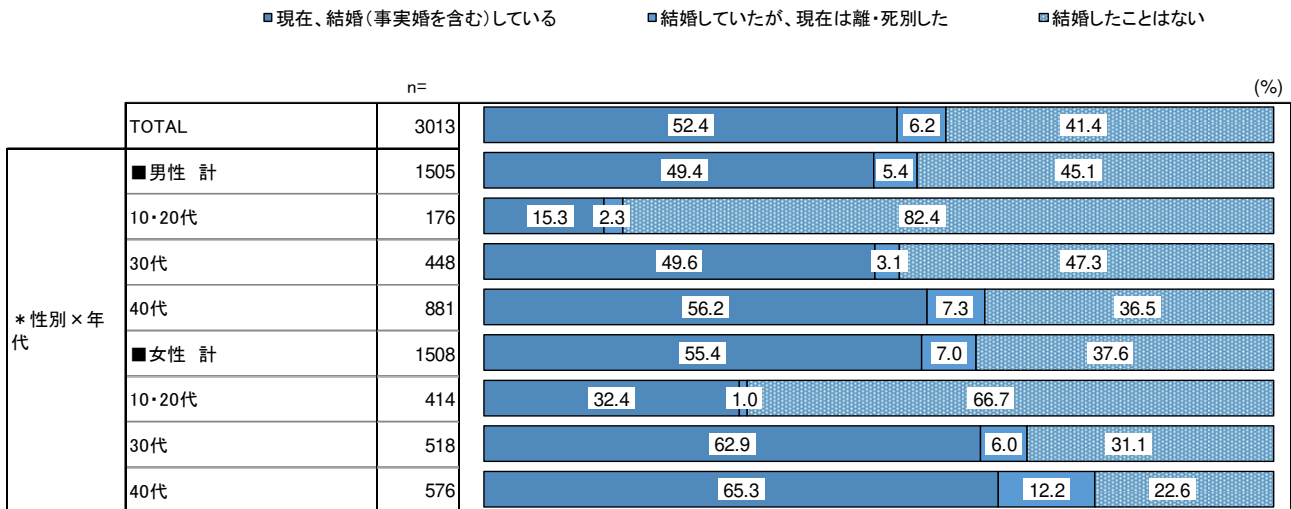


2. 調査結果

(1) 婚姻状況

問4 あなたの現在の婚姻状況をお答えください。(回答は1つ)

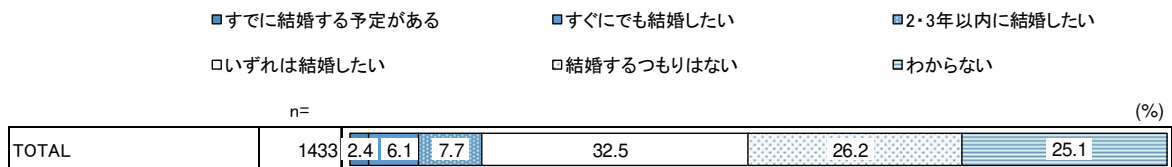
既婚者の割合は52.4%、独身者の割合は47.6%である。
 性・年代別にみると、いずれの年代でも女性は男性よりも結婚している割合が高くなっている。



(2) 独身者の結婚に対する意識

問5 結婚について、あなたのお気持ちに最も近いものをお答えください。(回答は1つ)
 【回答者：独身者】

独身者の結婚意向としては、「いずれは結婚したい」が32.5%、「2・3年以内に結婚したい」が7.7%である。「すでに結婚する予定がある」(2.4%)、「すぐにでも結婚したい」(6.1%)と合わせると、半数(48.7%)は結婚意向があると回答している。

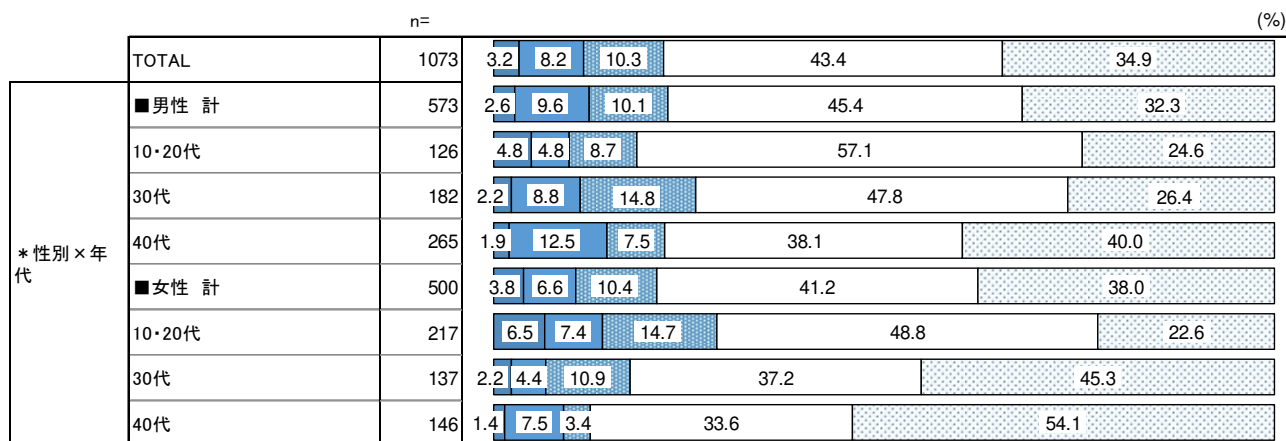


「わからない」の回答を除いた場合、結婚意向があると回答した人の割合は65.1%となり、性・年代別にみると、10・20代の結婚意向があると回答した人の割合が最も高く（77.4%）、女性40代の結婚意向があると回答した人の割合が最も低い（45.9%）。

また、希望出生率の算出根拠となる「女性18-34歳」では、結婚意向があると回答した人の割合は73.4%であった。

<「わからない」の回答を除いた場合>

■すでに結婚する予定がある ■すぐにも結婚したい ■2・3年以内に結婚したい □いずれは結婚したい □結婚するつもりはない



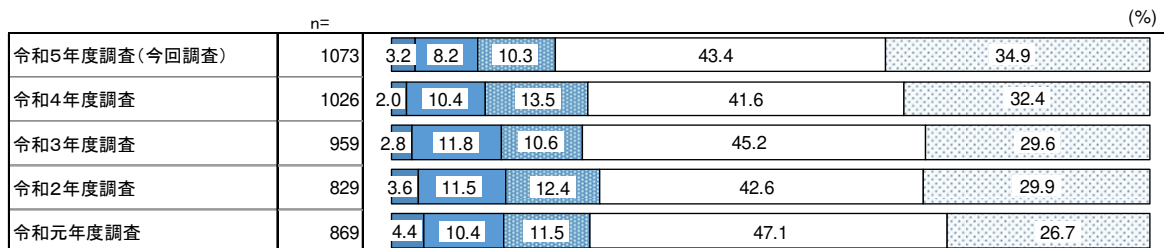
<女性18-34歳の場合>（希望出生率の算出根拠）

■すでに結婚する予定がある ■すぐにも結婚したい ■2・3年以内に結婚したい □いずれは結婚したい □結婚するつもりはない



令和元～5年度調査（今回調査）までの経年変化をみると、「結婚するつもりはない」がやや増加傾向がみられる。

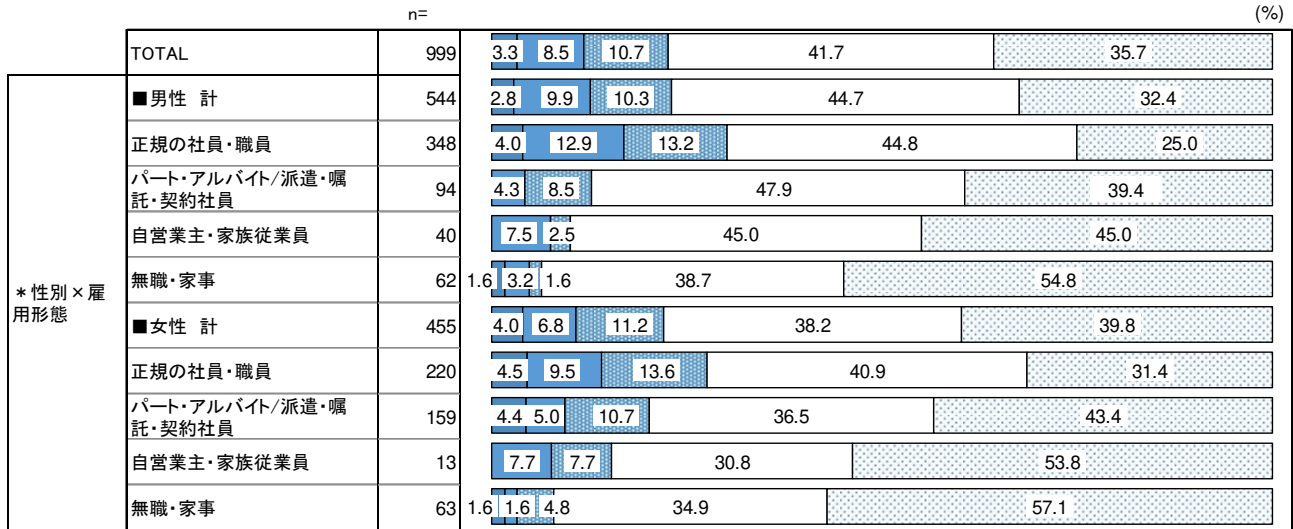
■すでに結婚する予定がある ■すぐにも結婚したい ■2・3年以内に結婚したい □いずれは結婚したい □結婚するつもりはない



性・雇用形態別にみると、結婚意向は、男性では正規の社員・職員が 74.9%、パート・アルバイト/派遣・嘱託・契約社員が 60.7%、女性では正規の社員・職員が 68.5%と高い。「結婚するつもりはない」は男女ともに無職・家事で高く、男性 54.8%、女性 57.1%となっている。

10代～30代の場合も同様の傾向がみられる。

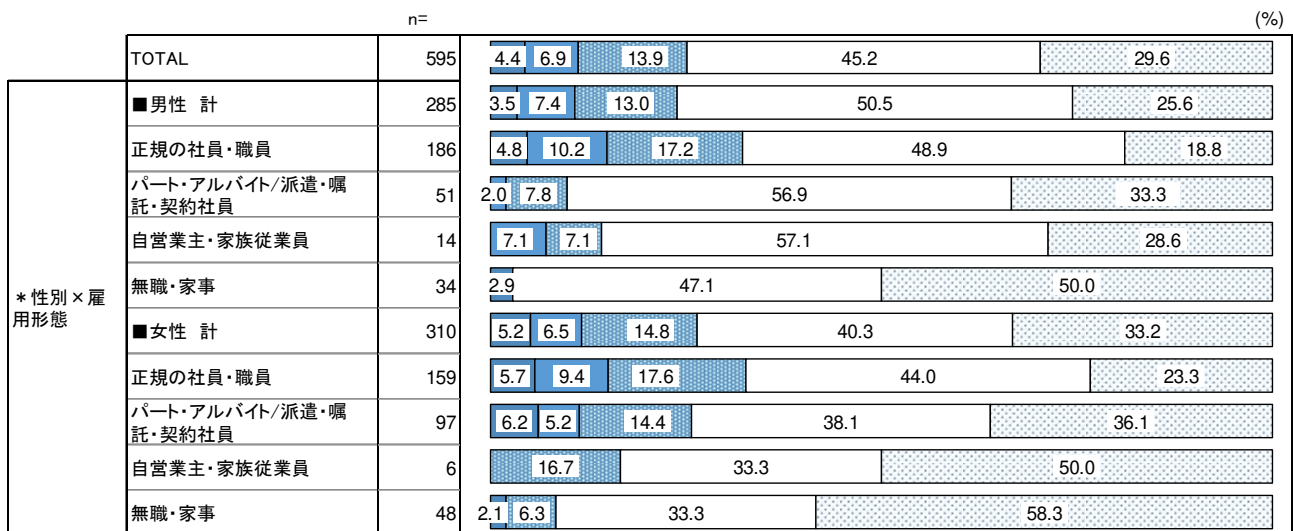
■すでに結婚する予定がある ■すぐにも結婚したい ■2・3年以内に結婚したい □いずれは結婚したい □結婚するつもりはない



※「学生 63 人」「その他 11 人」を除いて計算している。

<10代～30代の場合>

■すでに結婚する予定がある ■すぐにも結婚したい ■2・3年以内に結婚したい □いずれは結婚したい □結婚するつもりはない

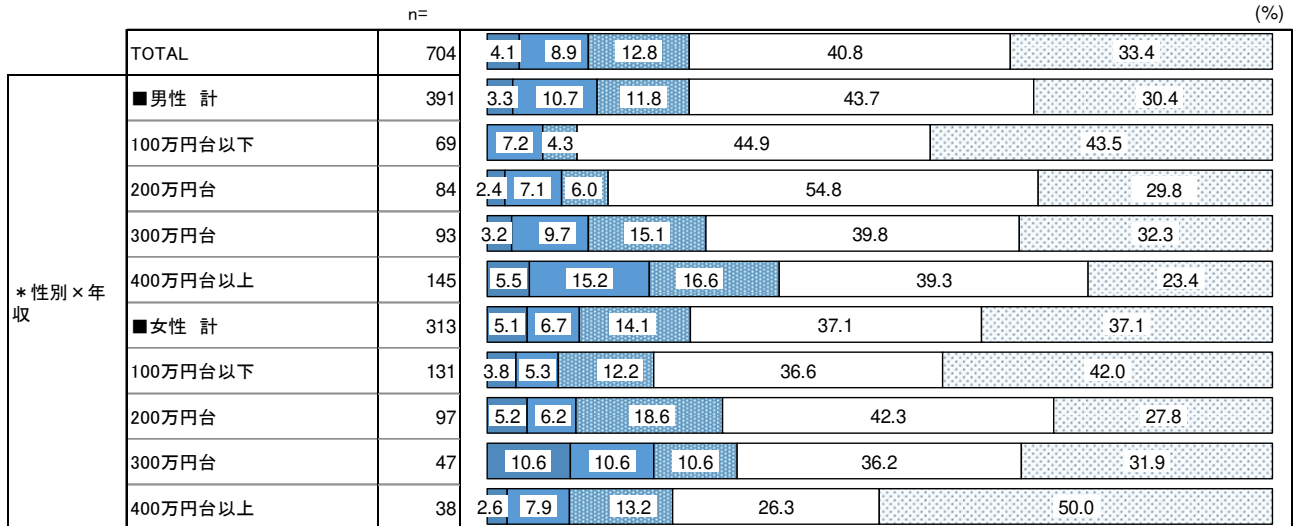


※「学生 62 人」「その他 5 人」を除いて計算している。

性・年収別にみると、「結婚するつもりはない」の割合は、男性は年収 100 万円台以下で 43.5%、女性は 400 万円台以上で 50.0%と高い。

10 代～30 代の場合、結婚意向は男性では 400 万円台以上、女性では 200 万円台が 8 割強となっている。一方、「結婚するつもりはない」の割合は、男女ともに 100 万円台以下で約 4 割と高くなっている。

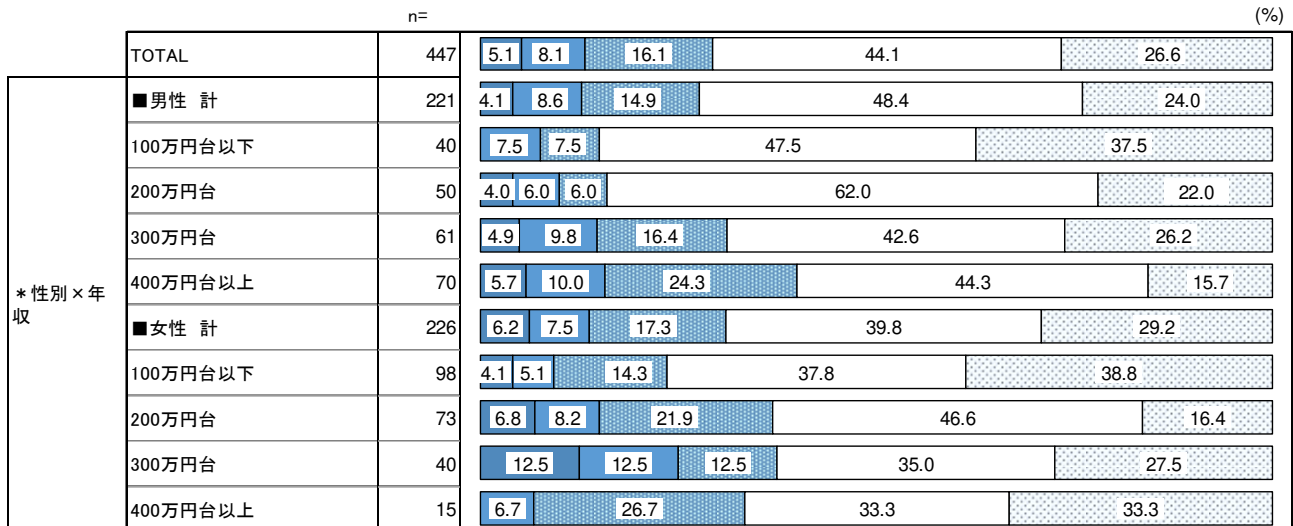
■すでに結婚する予定がある ■すぐにも結婚したい ■2・3年以内に結婚したい □いずれは結婚したい □結婚するつもりはない



※雇用形態が「学生 63 人」「その他 11 人」「無職・家事 125 人」、年収が「分からない・答えたくない・不明 170 人」を除いて計算している。

<10 代～30 代の場合>

■すでに結婚する予定がある ■すぐにも結婚したい ■2・3年以内に結婚したい □いずれは結婚したい □結婚するつもりはない



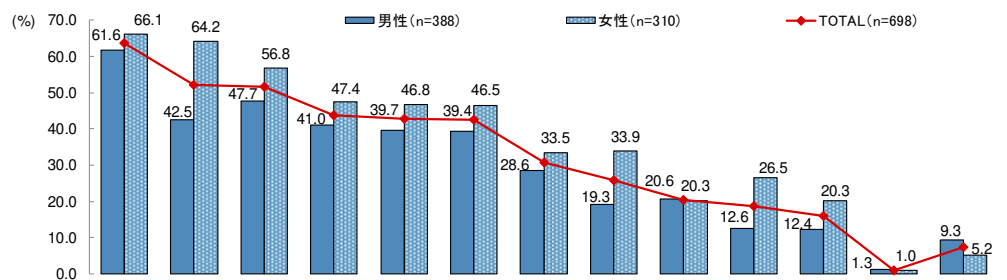
※雇用形態が「学生 62 人」「その他 5 人」「無職・家事 82 人」、年収が「分からない・答えたくない・不明 66 人」を除いて計算している。

問6 あなたが結婚を考えたとき、次の中ではどのようなことが気になりますか。
 (回答はいくつでも) 【回答者: 結婚予定・意向がある者】

結婚を考えたときに気になることとしては、「結婚生活を送るために十分な収入が確保できるか」(63.6%)が最も高い。次いで、「相手の両親とうまく付き合えるか」(52.1%)、「自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか」(51.7%)と続く。

性・年代別にみると、女性は結婚にあたって気になることを多く挙げており、特に「自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか」(56.8%)、「仕事(または学業)の時間を自由に取れるか」(33.9%)、「ファッションや食べ物などの好みや嗜好が制約されないか」(26.5%)、「職業を自由に選べるか」(20.3%)といった項目の割合が高いことから、ライフスタイルの変化に対する懸念が強いことがうかがえる。

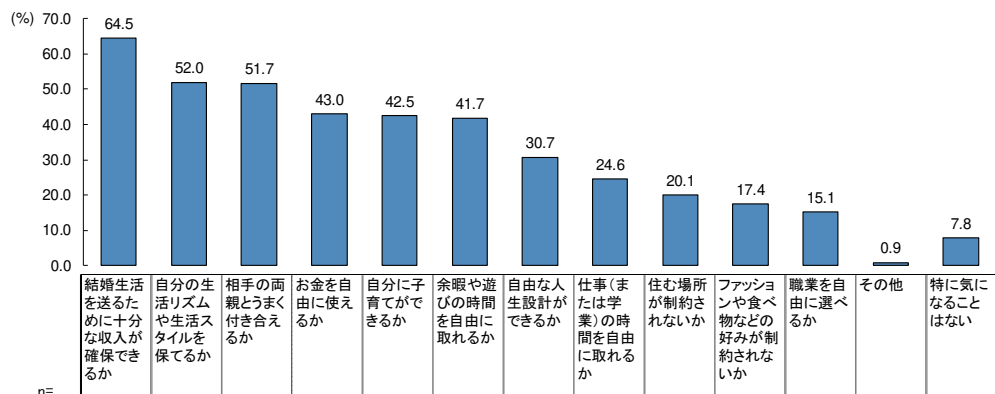
また、女性10代~30代では「相手の両親とうまく付き合えるか」(10・20代:65.5%、30代:68.0%)が高くなっている。



		n=	結婚生活を送るために十分な収入が確保できるか	相手の両親とうまく付き合えるか	自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか	自分に子育てができるか	お金を自由に使えるか	余暇や遊びの時間を自由に取れるか	自由な人生設計ができるか	仕事(または学業)の時間を自由に取れるか	住む場所が制約されないか	ファッションや食べ物などの好みや嗜好が制約されないか	職業を自由に選べるか	その他	特に気になることはない
TOTAL		698	63.6	52.1	51.7	43.8	42.8	42.6	30.8	25.8	20.5	18.8	15.9	1.1	7.4
*性別×年代	■男性 計	388	61.6	42.5	47.7	41.0	39.7	39.4	28.6	19.3	20.6	12.6	12.4	1.3	9.3
	10・20代	95	58.9	45.3	46.3	46.3	42.1	41.1	27.4	18.9	21.1	15.8	15.8	2.1	7.4
	30代	134	61.9	47.8	53.0	42.5	38.8	44.0	29.9	23.1	27.6	10.4	14.9	1.5	9.7
	40代	159	62.9	36.5	44.0	36.5	39.0	34.6	28.3	16.4	14.5	12.6	8.2	0.6	10.1
	■女性 計	310	66.1	64.2	56.8	47.4	46.8	46.5	33.5	33.9	20.3	26.5	20.3	1.0	5.2
	10・20代	168	67.3	65.5	53.0	59.5	48.2	50.0	33.9	34.5	17.9	27.4	19.0	1.2	4.2
	30代	75	70.7	68.0	60.0	48.0	53.3	49.3	36.0	33.3	24.0	30.7	29.3	1.3	4.0
	40代	67	58.2	56.7	62.7	16.4	35.8	34.3	29.9	32.8	22.4	19.4	13.4	0.0	9.0

※グラフはTOTALの順でソート

性・雇用形態別にみると、女性の正規の社員・職員では、「自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか」(59.6%)、「仕事(または学業)の時間を自由に取れるか」(33.8%)、「ファッションや食べ物などの好みは制約されないか」(25.8%)が高くなっている。

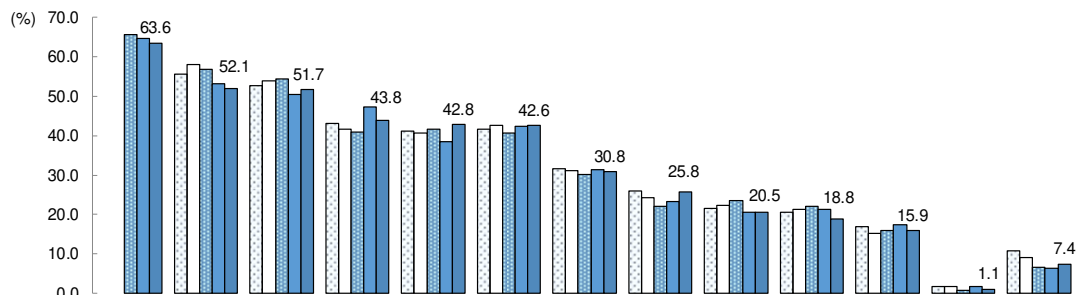


		n=	結婚生活を送るために十分な収入が確保できるか	自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか	相手の両親とうまく付き合えるか	お金を自由に使えるか	自分に子育てができるか	余暇や遊びの時間を自由に取れるか	自由な人生設計ができるか	仕事(または学業)の時間を自由に取れるか	住む場所が制約されないか	ファッションや食べ物などの好みは制約されないか	職業を自由に選べるか	その他	特に気になることはない
TOTAL		642	64.5	52.0	51.7	43.0	42.5	41.7	30.7	24.6	20.1	17.4	15.1	0.9	7.8
*性別×雇用形態	■男性 計	368	62.2	48.1	43.2	39.4	40.5	38.9	29.1	18.5	20.4	11.4	11.4	1.1	9.2
	正規の社員・職員	261	62.8	48.7	40.6	40.2	39.1	39.1	28.7	17.2	20.3	10.3	9.6	1.5	9.6
	パート・アルバイト/派遣・嘱託・契約社員	57	66.7	47.4	52.6	36.8	50.9	40.4	33.3	26.3	26.3	14.0	12.3	0.0	5.3
	自営業主・家族従業員	22	54.5	45.5	31.8	22.7	18.2	36.4	18.2	13.6	4.5	0.0	13.6	0.0	18.2
	無職・家事	28	53.6	46.4	57.1	50.0	50.0	35.7	32.1	17.9	21.4	25.0	25.0	0.0	7.1
	■女性 計	274	67.5	57.3	63.1	47.8	45.3	45.6	32.8	32.8	19.7	25.5	20.1	0.7	5.8
	正規の社員・職員	151	68.2	59.6	57.0	47.7	47.0	46.4	35.1	33.8	21.9	25.8	18.5	1.3	4.6
	パート・アルバイト/派遣・嘱託・契約社員	90	70.0	55.6	72.2	53.3	47.8	53.3	26.7	37.8	20.0	27.8	23.3	0.0	5.6
	自営業主・家族従業員	6	50.0	66.7	33.3	33.3	16.7	33.3	50.0	0.0	16.7	33.3	16.7	0.0	16.7
	無職・家事	27	59.3	48.1	74.1	33.3	33.3	18.5	37.0	18.5	7.4	14.8	18.5	0.0	11.1

※なお、「学生 51 人」「その他 5 人」を除いて計算している。

令和元～5年度調査（今回調査）までの経年変化をみると、「結婚生活を送るために十分な収入が確保できるか」が令和3年度・令和4年度と同様に最も高い。

□令和元年度調査(n=637) □令和2年度調査(n=581) □令和3年度調査(n=675) ■令和4年度調査(n=694) ■令和5年度調査(今回調査)(n=698)



	n=	結婚生活を送るために十分な収入が確保できるか	相手の両親とうまく付き合えるか	自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか	自分に子育てができるか	お金を自由に使えるか	余暇や遊びの時間を自由に取れるか	自由な人生設計ができるか	仕事(または学業)の時間を自由に取れるか	住む場所が制約されないか	ファッションや食べ物などの好み制約されないか	職業を自由に選べるか	その他	特に気になることはない
令和5年度調査(今回調査)	698	63.6	52.1	51.7	43.8	42.8	42.6	30.8	25.8	20.5	18.8	15.9	1.1	7.4
令和4年度調査	694	64.8	53.3	50.4	47.4	38.5	42.5	31.4	23.3	20.7	21.3	17.4	1.7	6.5
令和3年度調査	675	65.6	56.9	54.4	40.9	41.6	40.6	30.1	22.1	23.6	22.1	15.9	0.7	6.7
令和2年度調査	581	-	58.2	53.9	41.7	40.8	42.7	31.2	24.3	22.4	21.3	15.3	1.7	9.1
令和元年度調査	637	-	55.6	52.7	43.2	41.1	41.6	31.6	25.9	21.7	20.6	17.0	1.7	10.7

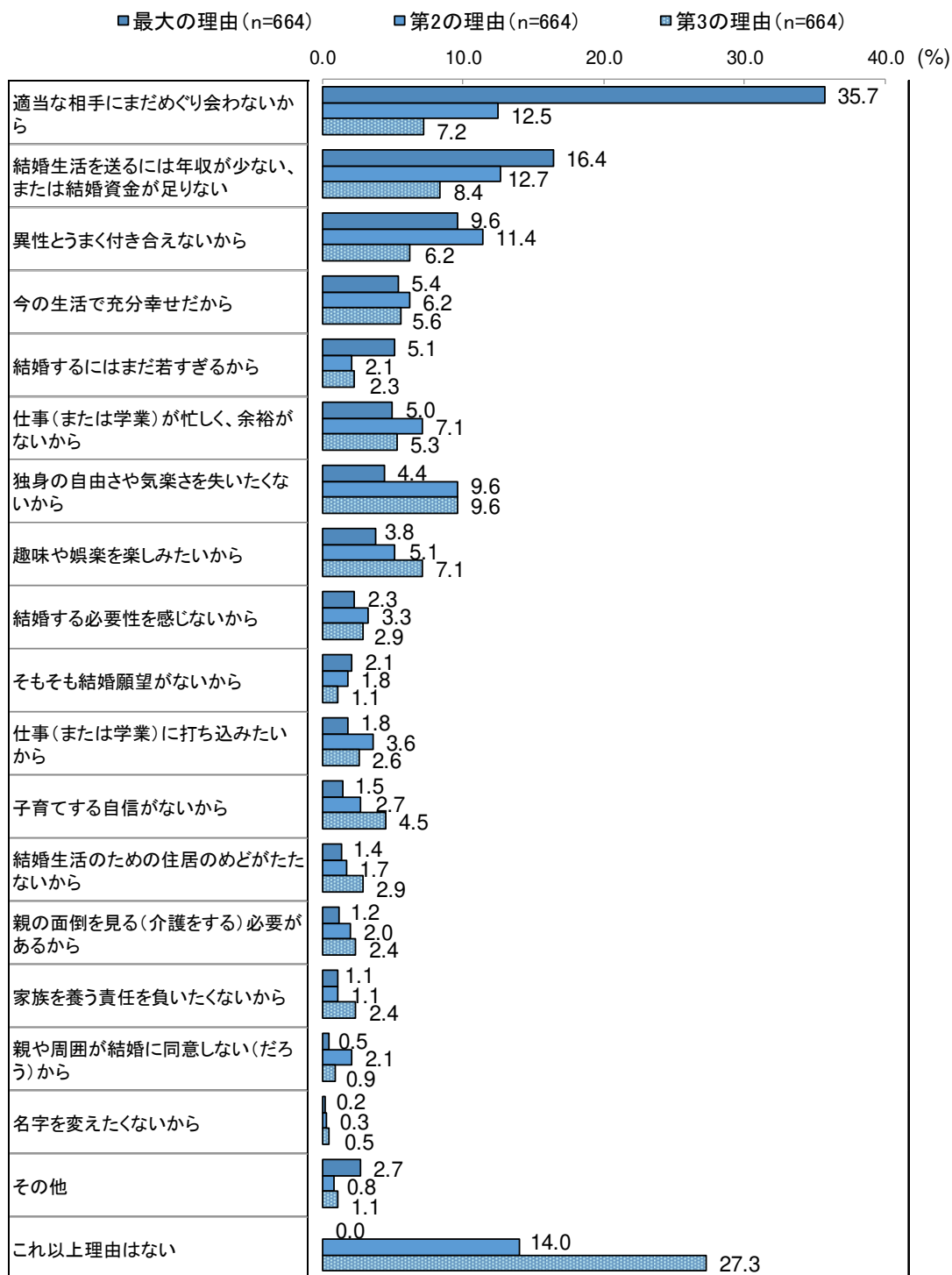
※グラフは今回調査の順でソート

※「結婚生活を送るために十分な収入が確保できるか」は令和3年度からの新規項目

問7 あなたが現在独身でいる理由は、次の中から選ぶとすればどれですか。最大の理由、第2の理由、第3の理由をそれぞれお答えください。(回答はそれぞれ1つ)
 【回答者：結婚意向がある者（結婚予定がある者を除く）、結婚意向がない者】

現在独身でいる最大の理由を結婚意向がある者（結婚予定がある者を除く）についてみると、「適当な相手にまだめぐり会わないから」（35.7%）が最も高い。次いで、「結婚生活を送るには年収が少ない、または結婚資金が足りない」（16.4%）、「異性とうまく付き合えないから」（9.6%）と続く。

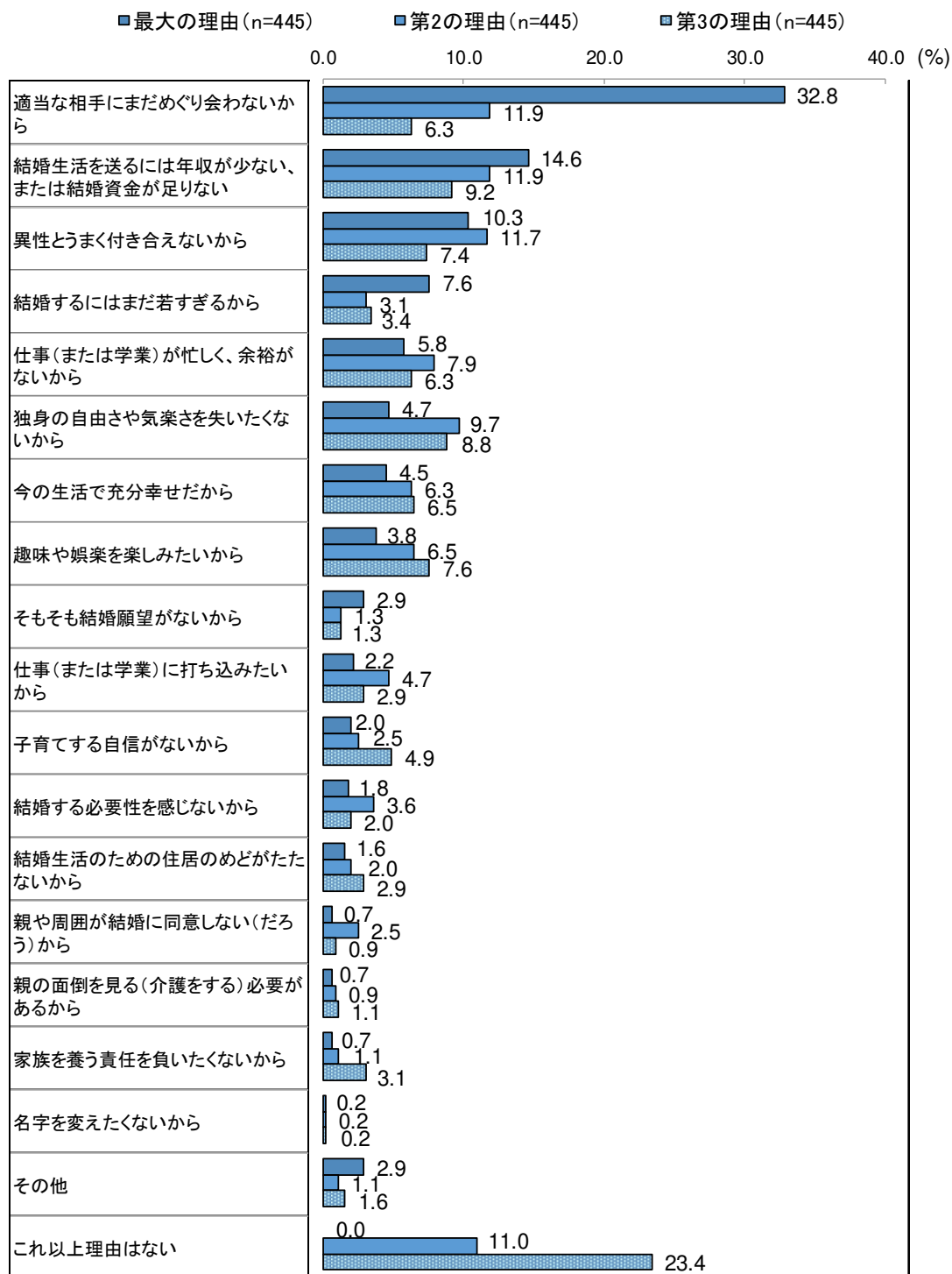
<結婚意向がある者（結婚予定がある者を除く）の場合>



※グラフは「最大の理由」の順でソート

結婚意向がある者（結婚予定がある者を除く）の10代～30代の場合、現在独身でいる最大の理由は「適当な相手にまだめぐり会わないから」（32.8%）が最も高い。次いで、「結婚生活を送るには年収が少ない、または結婚資金が足りない」（14.6%）、「異性とうまく付き合えないから」（10.3%）と続いており、40代も含めた全年代と同様の傾向がみられる。

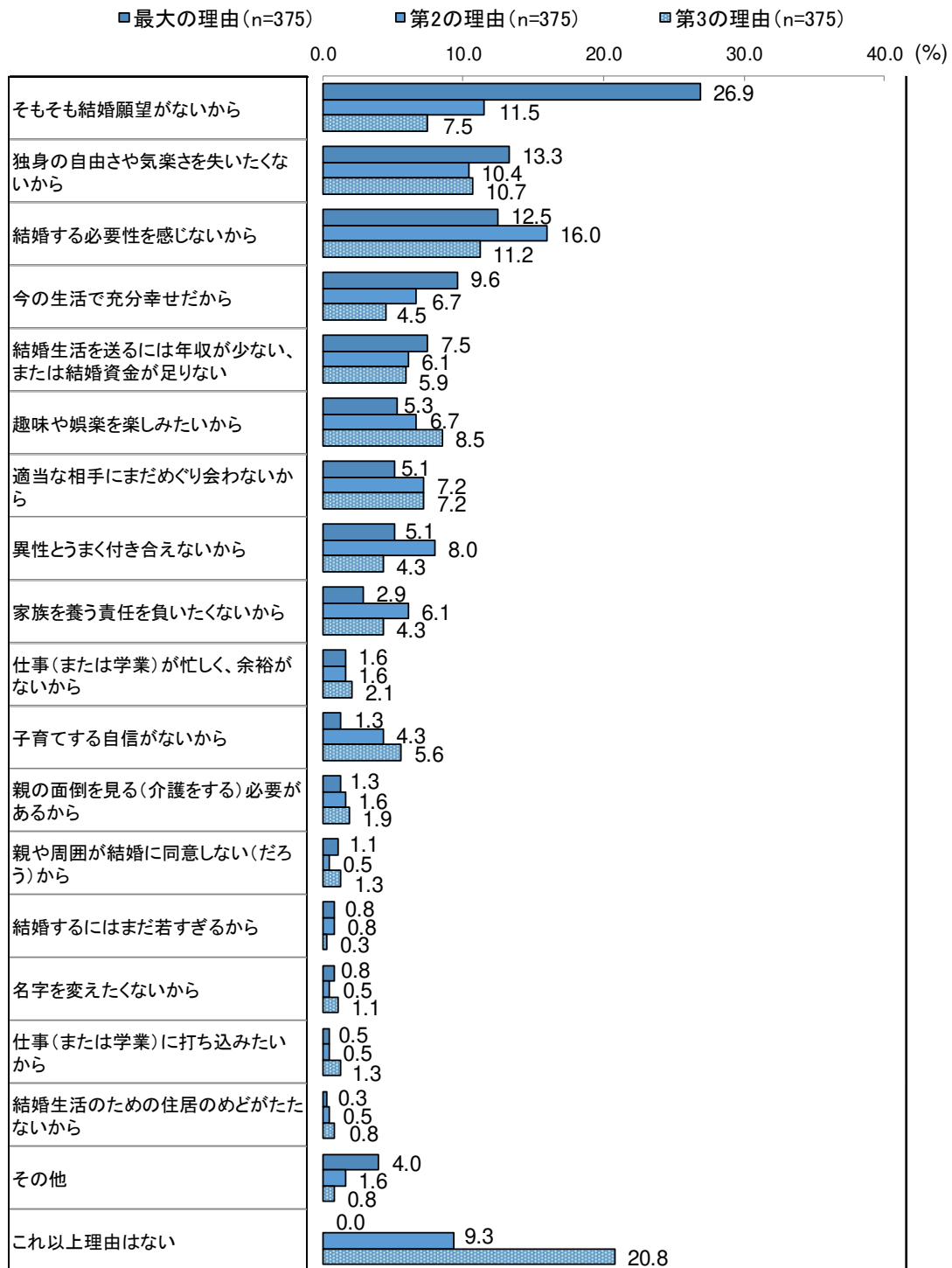
<結婚意向がある者（結婚予定がある者を除く）の10代～30代の場合>



※グラフは「最大の理由」の順でソート

現在独身でいる最大の理由を結婚意向がない者についてみると、「そもそも結婚願望がないから」(26.9%)が最も高い。次いで、「独身の自由さや気楽さを失いたくないから」(13.3%)、「結婚する必要性を感じないから」(12.5%)と続く。

<結婚意向がない者の場合>

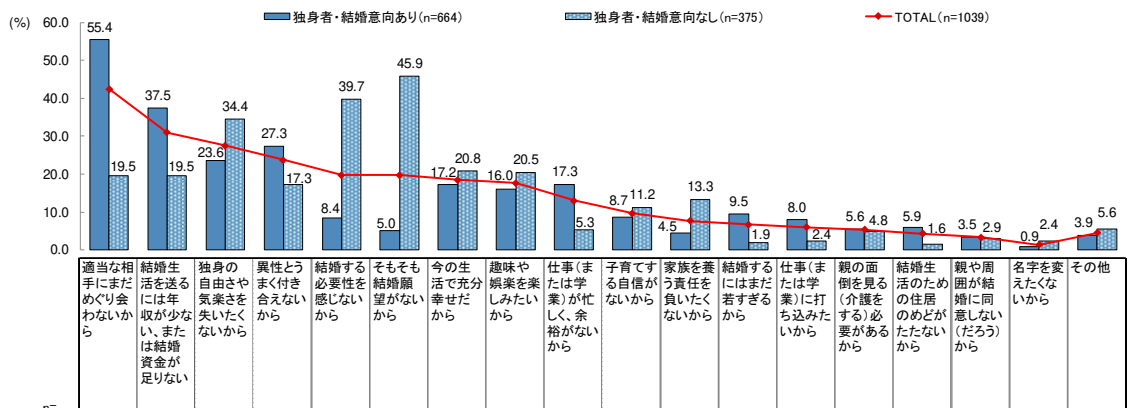


※グラフは「最大の理由」の順でソート

結婚意向と性・年代別にみると、「結婚意向あり」では、「適当な相手にまだめぐり合わないから」(55.4%)、「結婚生活を送るには年収が少ない、または結婚資金が足りない」(37.5%)が高くなっている。「結婚意向あり」の男性では、いずれの年代も「結婚生活を送るには年収が少ない、または結婚資金が足りない」が高い。また、「結婚意向あり」の10・20代では、男女ともに「仕事(または学業)が忙しく、余裕がないから」(男性:22.5%、女性:21.4%)が高い。

「結婚意向なし」では、「そもそも結婚願望がないから」(45.9%)、「結婚する必要性を感じないから」(39.7%)が高い。「結婚意向なし」の男性40代では「家族を養う責任を負いたくないから」(20.8%)が、女性10・20代では「趣味や娯楽を楽しみたいから」(34.7%)、「家族を養う責任を負いたくないから」(16.3%)が、女性40代では「今の生活で充分幸せだから」(40.5%)がそれぞれ高い。

＜最大の理由、第2の理由、第3の理由を合算した場合＞



	n	適当な相手にまだめぐり合わないから	結婚生活を送るには年収が少ない、または結婚資金が足りない	独身の自由さや気楽さを失いたくないから	異性とうまく付き合えないから	結婚する必要性を感じないから	そもそも結婚願望がないから	今の生活で充分幸せだから	趣味や娯楽を楽しみたいから	仕事(または学業)が忙しく、余裕がないから	子育てする自信がないから	家族を養う責任を負いたくないから	結婚するにはまだ若すぎるから	仕事(または学業)に打ち込みたいから	親の面倒(介護)をする必要があるから	結婚生活のための住居のめどがないから	親や周囲が結婚に同意しない(だろう)から	名字を変えたくないから	その他
TOTAL	1039	42.4	31.0	27.5	23.7	19.7	19.7	18.5	17.6	13.0	9.6	7.7	6.7	6.0	5.3	4.3	3.3	1.4	4.5
独身者・結婚意向あり	664	55.4	37.5	23.6	27.3	8.4	5.0	17.2	16.0	17.3	8.7	4.5	9.5	8.0	5.6	5.9	3.5	0.9	3.9
■男性計	373	59.0	44.5	19.8	31.9	6.4	4.6	14.7	15.8	17.2	8.3	6.2	6.7	6.2	5.4	5.4	3.5	0.3	2.1
10・20代	89	48.3	41.6	15.7	32.6	3.4	3.4	14.6	19.1	22.5	7.9	10.1	28.1	13.5	0.0	6.7	2.2	0.0	3.4
30代	130	60.0	40.8	21.5	39.2	7.7	6.9	16.9	16.9	18.5	8.5	6.2	0.0	3.8	4.6	4.6	4.6	0.0	2.3
40代	154	64.3	49.4	20.8	25.3	7.1	3.2	13.0	13.0	13.0	8.4	3.9	0.0	3.9	9.1	5.2	3.2	0.6	1.3
■女性計	291	50.9	28.5	28.5	21.3	11.0	5.5	20.3	16.2	17.5	9.3	2.4	13.1	10.3	5.8	6.5	3.4	1.7	6.2
10・20代	154	41.6	35.1	21.4	22.1	5.8	3.9	18.2	20.1	21.4	8.4	2.6	24.7	14.9	1.3	9.1	6.5	1.3	6.5
30代	72	58.3	20.8	38.9	23.6	15.3	9.7	19.4	13.9	16.7	15.3	1.4	0.0	5.6	5.6	4.2	0.0	1.4	6.9
40代	65	64.6	21.5	33.8	16.9	18.5	4.6	26.2	9.2	9.2	4.6	3.1	0.0	4.6	16.9	3.1	0.0	3.1	4.6
独身者・結婚意向なし	375	19.5	19.5	34.4	17.3	39.7	45.9	20.8	20.5	5.3	11.2	13.3	1.9	2.4	4.8	1.6	2.9	2.4	5.6
■男性計	185	14.6	29.7	34.1	15.1	36.8	44.3	15.1	18.9	7.6	13.5	17.8	0.5	2.2	5.4	0.5	2.7	1.1	4.3
10・20代	31	6.5	19.4	38.7	19.4	25.8	41.9	16.1	22.6	16.1	12.9	12.9	3.2	6.5	3.2	0.0	6.5	6.5	3.2
30代	48	18.8	22.9	35.4	14.6	39.6	52.1	14.6	25.0	4.2	10.4	14.6	0.0	2.1	2.1	0.0	4.2	0.0	4.2
40代	106	15.1	35.8	32.1	14.2	38.7	41.5	15.1	15.1	6.6	15.1	20.8	0.0	0.9	7.5	0.9	0.9	0.0	4.7
■女性計	190	24.2	9.5	34.7	19.5	42.6	47.4	26.3	22.1	3.2	8.9	8.9	3.2	2.6	4.2	2.6	3.2	3.7	6.8
10・20代	49	20.4	8.2	38.8	22.4	36.7	51.0	14.3	34.7	0.0	14.3	16.3	12.2	6.1	2.0	0.0	2.0	6.1	6.1
30代	62	27.4	9.7	38.7	19.4	41.9	45.2	17.7	25.8	0.0	6.5	8.1	0.0	0.0	4.8	4.8	4.8	1.6	8.1
40代	79	24.1	10.1	29.1	17.7	46.8	46.8	40.5	11.4	7.6	7.6	5.1	0.0	2.5	5.1	2.5	2.5	3.8	6.3

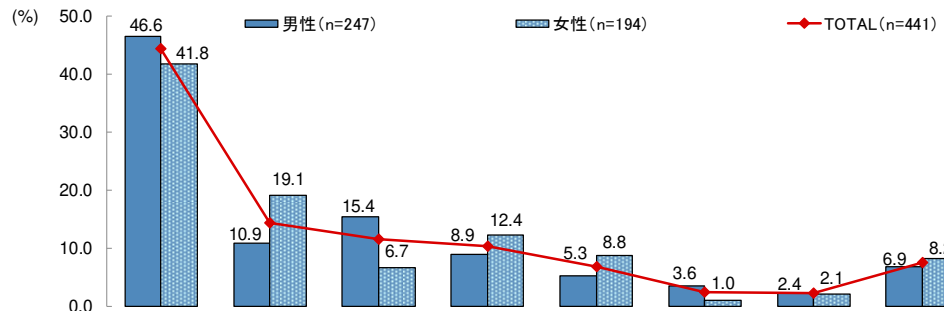
※グラフはTOTALの順でソート

問8 「適当な相手にまだめぐり会わないから」の具体的な内容のうち、最もあてはまるものを1つお選びください。(回答は1つ)

【回答者：問7で「適当な相手にまだめぐり会わないから」と回答した者】

現在独身でいる理由として「適当な相手にまだめぐり会わないから」の理由については、「そもそも身近に、自分と同世代の未婚者が少ない(いない)ため、出会いの機会がほとんどない」(44.4%)が最も高い。

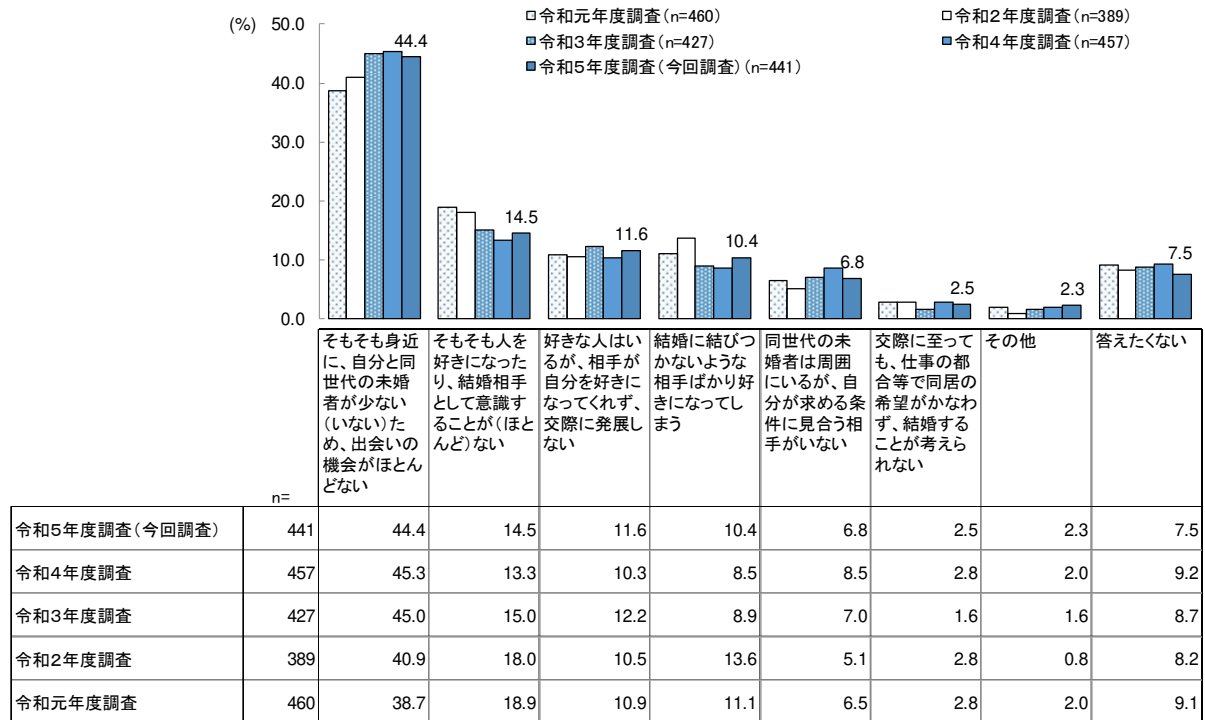
性・年代別にみると、男性40代では「好きな人はいるが、相手が自分を好きになってくれず、交際に発展しない」(17.4%)が高い。また、女性10・20代では「そもそも人を好きになったり、結婚相手として意識することが(ほとんど)ない」(23.0%)が高くなっている。



		n=	そもそも身近に、自分と同世代の未婚者が少ない(いない)ため、出会いの機会がほとんどない	そもそも人を好きになったり、結婚相手として意識することが(ほとんど)ない	好きな人はいるが、相手が自分を好きになってくれず、交際に発展しない	結婚に結びつかないような相手ばかり好きになってしまふ	同世代の未婚者は周囲にいるが、自分が求める条件に見合う相手がいない	交際に至っても、仕事の都合等で同居の希望がかなわず、結婚することが考えられない	その他	答えたくない
TOTAL		441	44.4	14.5	11.6	10.4	6.8	2.5	2.3	7.5
* 性別×年代	■男性 計	247	46.6	10.9	15.4	8.9	5.3	3.6	2.4	6.9
	10・20代	45	40.0	11.1	17.8	4.4	6.7	4.4	2.2	13.3
	30代	87	50.6	14.9	11.5	4.6	4.6	2.3	2.3	9.2
	40代	115	46.1	7.8	17.4	13.9	5.2	4.3	2.6	2.6
	■女性 計	194	41.8	19.1	6.7	12.4	8.8	1.0	2.1	8.2
	10・20代	74	35.1	23.0	10.8	10.8	12.2	0.0	2.7	5.4
	30代	59	44.1	20.3	6.8	8.5	6.8	0.0	1.7	11.9
	40代	61	47.5	13.1	1.6	18.0	6.6	3.3	1.6	8.2

※グラフはTOTALの順でソート

令和元～5年度調査（今回調査）までの経年変化をみると、「そもそも身近に、自分と同世代の未婚者が少ない（いない）ため、出会いの機会がほとんどない」は令和3年度以降、4割半ばで推移している。「そもそも人を好きになったり、結婚相手として意識することが（ほとんど）ない」は昨年度と同様の傾向がみられる。



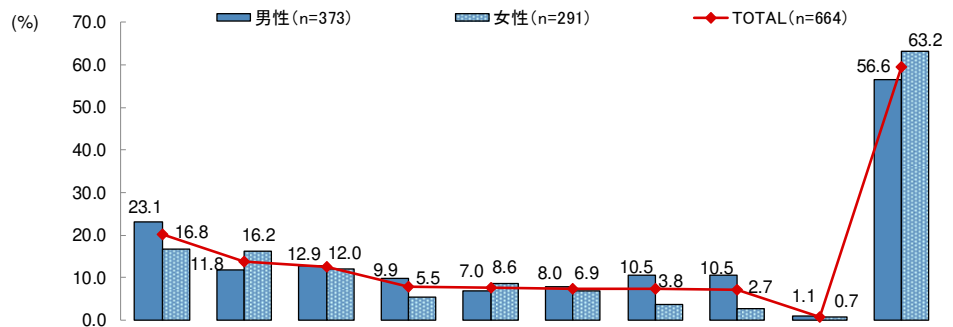
※グラフは今回調査の順でソート

問9 あなたは「婚活」としてどのようなことを行っていますか。あるいは今後行いたいですか。
 (回答はいくつでも) 【回答者: 結婚意向がある者(結婚予定がある者を除く)】

「婚活」として行っていること(今後行いたいこと)としては、「インターネットサイト・SNSを活用する」(20.3%)が最も高い。次いで、「友人、職場の同僚や先輩に頼む」(13.7%)、「婚活パーティーに参加する」(12.5%)と続く。一方、「婚活」は「特に行っていない・行う予定はない」は約6割(59.5%)を占める。

性・年代別にみると、男性30代は「インターネットサイト・SNSを活用する」(28.5%)、「民間の結婚相談所に登録する」(13.1%)、「市町村や社会福祉協議会などの公的な結婚相談所に登録する」(12.3%)が高い。

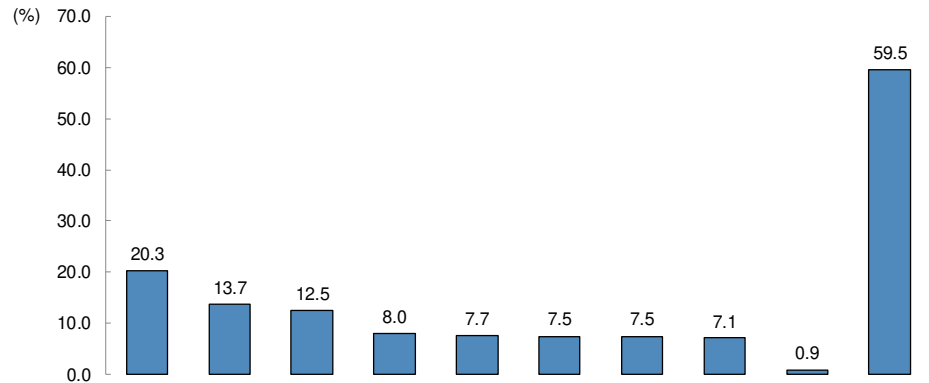
女性30代は「友人、職場の同僚や先輩に頼む」(27.8%)が高くなっている。



		n=	インターネットサイト・SNSを活用する	友人、職場の同僚や先輩に頼む	婚活パーティーに参加する	お見合いをする	合コンに参加する	趣味のサークルに入る	民間の結婚相談所に登録する	市町村や社会福祉協議会などの公的な結婚相談所に登録する	その他	特に行っていない・行う予定はない
TOTAL		664	20.3	13.7	12.5	8.0	7.7	7.5	7.5	7.1	0.9	59.5
*性別×年代	■男性計	373	23.1	11.8	12.9	9.9	7.0	8.0	10.5	10.5	1.1	56.6
	10・20代	89	22.5	7.9	9.0	5.6	7.9	4.5	6.7	6.7	0.0	61.8
	30代	130	28.5	14.6	16.2	10.8	3.8	10.8	13.1	12.3	0.8	49.2
	40代	154	18.8	11.7	12.3	11.7	9.1	7.8	10.4	11.0	1.9	59.7
	■女性計	291	16.8	16.2	12.0	5.5	8.6	6.9	3.8	2.7	0.7	63.2
	10・20代	154	16.9	11.7	6.5	5.8	7.8	8.4	1.9	1.9	0.0	68.2
	30代	72	12.5	27.8	18.1	4.2	13.9	6.9	4.2	4.2	1.4	55.6
	40代	65	21.5	13.8	18.5	6.2	4.6	3.1	7.7	3.1	1.5	60.0

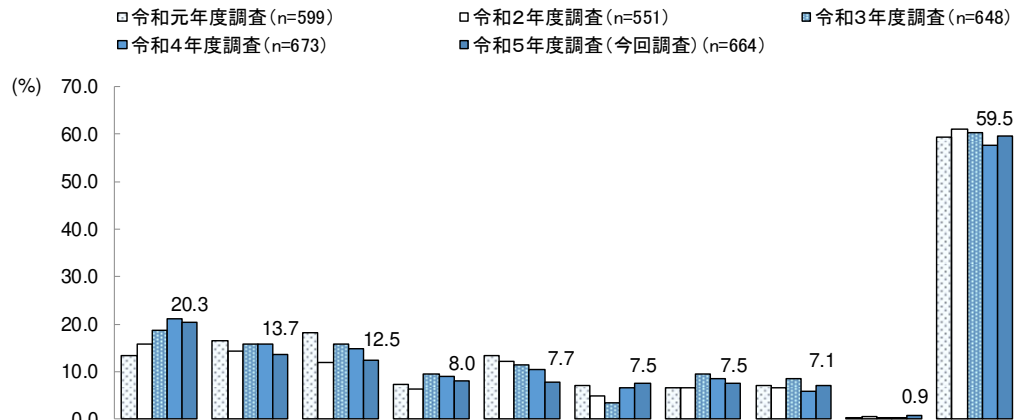
※グラフはTOTALの順でソート

性・結婚意向別にみると、「すぐにでも結婚したい／2・3年以内に結婚したい」と回答した者では、男性は「インターネットサイト・SNSを活用する」(30.1%)、「友人、職場の同僚や先輩に頼む」(21.2%)、「婚活パーティーに参加する」(21.2%)が高くなっている。女性は「友人、職場の同僚や先輩に頼む」(23.5%)、「合コンに参加する」(15.3%)が高い。



		n=	インターネットサイト・SNSを活用する	友人、職場の同僚や先輩に頼む	婚活パーティーに参加する	お見合いをする	合コンに参加する	趣味のサークルに入る	民間の結婚相談所に登録する	市町村や社会福祉協議会などの公的な結婚相談所に登録する	その他	特に行っていない・行う予定はない
TOTAL		664	20.3	13.7	12.5	8.0	7.7	7.5	7.5	7.1	0.9	59.5
* 性別 × 結婚意向	■ 男性 計	373	23.1	11.8	12.9	9.9	7.0	8.0	10.5	10.5	1.1	56.6
	すぐにでも結婚したい／2・3年以内に結婚したい	113	30.1	21.2	21.2	15.9	11.5	11.5	17.7	15.9	1.8	37.2
	いずれは結婚したい	260	20.0	7.7	9.2	7.3	5.0	6.5	7.3	8.1	0.8	65.0
	■ 女性 計	291	16.8	16.2	12.0	5.5	8.6	6.9	3.8	2.7	0.7	63.2
	すぐにでも結婚したい／2・3年以内に結婚したい	85	25.9	23.5	16.5	9.4	15.3	10.6	3.5	4.7	1.2	50.6
	いずれは結婚したい	206	13.1	13.1	10.2	3.9	5.8	5.3	3.9	1.9	0.5	68.4

令和元～5年度調査(今回調査)までの経年変化をみると、「インターネットサイト・SNSを活用する」は昨年度とほぼ同様の傾向がみられる。「婚活パーティーに参加する」と「合コンに参加する」は減少傾向がみられる。



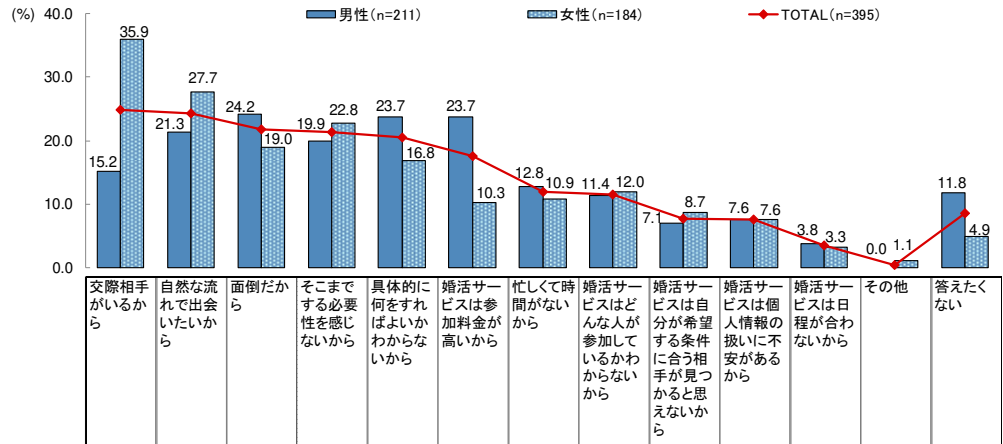
	n=	インターネットサイト・SNSを活用する	友人、職場の同僚や先輩に頼む	婚活パーティーに参加する	お見合いをする	合コンに参加する	趣味のサークルに入る	民間の結婚相談所に登録する	市町村や社会福祉協議会などの公的な結婚相談所に登録する	その他	特に行っていない・行う予定はない
令和5年度調査(今回調査)	664	20.3	13.7	12.5	8.0	7.7	7.5	7.5	7.1	0.9	59.5
令和4年度調査	673	21.2	15.9	14.9	9.1	10.4	6.7	8.5	5.9	0.4	57.7
令和3年度調査	648	18.8	15.9	15.9	9.4	11.4	3.4	9.4	8.5	0.3	60.2
令和2年度調査	551	15.8	14.3	12.0	6.4	12.2	4.9	6.7	6.5	0.5	61.0
令和元年度調査	599	13.5	16.5	18.2	7.3	13.5	7.0	6.7	7.0	0.3	59.3

※グラフは今回調査の順でソート

問10 婚活を「特に行っていない・行う予定はない」とされた理由は何ですか。あてはまるものをお答えください。(回答はいくつでも) 【回答者：問9で婚活は特に行っていないと回答した者】

婚活を特に行っていない・行う予定はない理由としては、「交際相手がいるから」(24.8%)、「自然な流れで出会いたいから」(24.3%)、「面倒だから」(21.8%)が高い。

性・年代別にみると、男性40代では、「面倒だから」(30.4%)、「婚活サービスは参加料金が安いから」(26.1%)が高い。女性10・20代と40代では、「交際相手がいるから」(10・20代：35.2%、40代：46.2%)が高くなっている。



		n=	交際相手がいるから	自然な流れで出会いたいから	面倒だから	そこまでする必要を感じないから	具体的に何をすればよいかわからないから	婚活サービスは参加料が高いから	忙しくて時間がないから	婚活サービスはどんな人が参加しているかわからないから	婚活サービスは自分が希望する条件に合う相手が見つからないから	婚活サービスは個人情報の扱いに不安があるから	婚活サービスは日程が合わないから	その他	答えたくない
TOTAL		395	24.8	24.3	21.8	21.3	20.5	17.5	11.9	11.6	7.8	7.6	3.5	0.5	8.6
*性別×年代	■男性計	211	15.2	21.3	24.2	19.9	23.7	23.7	12.8	11.4	7.1	7.6	3.8	0.0	11.8
	10・20代	55	20.0	23.6	20.0	16.4	29.1	27.3	12.7	14.5	7.3	10.9	1.8	0.0	7.3
	30代	64	20.3	18.8	18.8	17.2	21.9	17.2	12.5	10.9	4.7	6.3	6.3	0.0	15.6
	40代	92	8.7	21.7	30.4	23.9	21.7	26.1	13.0	9.8	8.7	6.5	3.3	0.0	12.0
	■女性計	184	35.9	27.7	19.0	22.8	16.8	10.3	10.9	12.0	8.7	7.6	3.3	1.1	4.9
	10・20代	105	35.2	26.7	16.2	24.8	11.4	4.8	11.4	7.6	7.6	3.8	1.0	1.0	8.6
	30代	40	27.5	22.5	20.0	20.0	27.5	15.0	15.0	20.0	10.0	15.0	2.5	2.5	0.0
	40代	39	46.2	35.9	25.6	20.5	20.5	20.5	5.1	15.4	10.3	10.3	10.3	0.0	0.0

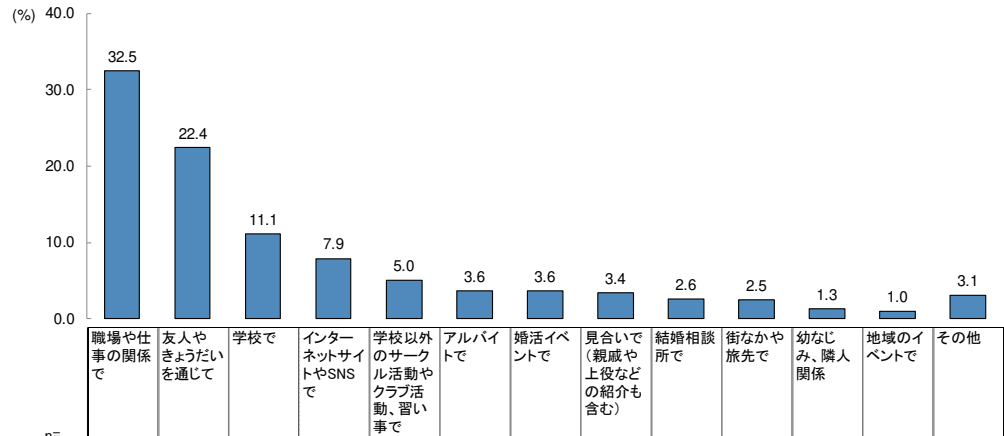
※グラフはTOTALの順でソート

(3) 既婚者の結婚生活の状況

問11 あなた方ご夫婦はどのようなきっかけで知り合いましたか。(回答は1つ)
【回答者：既婚者】

夫婦が知り合ったきっかけは、「職場や仕事の関係で」(32.5%)が最も高い。次いで、「友人やきょうだいを通じて」(22.4%)、「学校で」(11.1%)と続く。

性・年代別にみると、男性40代では「職場や仕事の関係で」(40.0%)が高い。また、女性10・20代では「学校で」(19.4%)、「インターネットサイトやSNSで」(17.9%)が高くなっている。



		n=	職場や仕事の関係で	友人やきょうだいを通じて	学校で	インターネットサイトやSNSで	学校以外のサークル活動やクラブ活動、習い事で	アルバイトで	婚活イベントで	見合いで(親戚や上役などの紹介も含む)	結婚相談所で	街なかや旅先で	幼なじみ、隣人関係	地域のイベントで	その他
TOTAL		1580	32.5	22.4	11.1	7.9	5.0	3.6	3.6	3.4	2.6	2.5	1.3	1.0	3.1
*性別×年代	■男性 計	744	34.9	21.5	10.5	5.9	5.9	2.3	4.3	3.1	3.1	2.3	1.5	1.3	3.4
	10・20代	27	14.8	18.5	33.3	11.1	0.0	0.0	3.7	3.7	0.0	0.0	11.1	0.0	3.7
	30代	222	26.1	23.0	14.4	6.8	6.8	2.7	5.4	2.3	3.2	1.8	2.3	2.3	3.2
	40代	495	40.0	21.0	7.5	5.3	5.9	2.2	3.8	3.4	3.2	2.6	0.6	1.0	3.4
	■女性 計	836	30.4	23.2	11.6	9.7	4.2	4.8	3.0	3.7	2.2	2.6	1.1	0.7	2.9
	10・20代	134	20.1	20.9	19.4	17.9	2.2	9.0	2.2	0.7	1.5	1.5	0.7	1.5	2.2
	30代	326	31.6	22.7	11.3	10.4	3.4	4.0	3.4	2.8	1.2	3.1	1.2	0.9	4.0
	40代	376	33.0	24.5	9.0	6.1	5.6	4.0	2.9	5.6	3.2	2.7	1.1	0.3	2.1

(4) 働き方に関する現状

問12 あなたのおつとめの状況をお答えください。結婚されている方（事実婚を含む）は、配偶者（パートナー）についてもお答えください。（回答はそれぞれ1つ）

回答者自身の就労状況を性・年代別にみると、男性の場合、30代、40代では「正規の社員・職員」が7割台（30代：77.5%、40代：76.5%）となっているが、10・20代では58.0%とやや低い割合である。一方、女性の場合、「正規の社員・職員」は10・20代では40.1%で、30代（34.7%）、40代（31.4%）よりもやや高くなっている。

○ あなた自身の状況

■正規の社員・職員 ■パート・アルバイト □派遣・嘱託・契約社員 □自営業主・家族従業員 □無職・家事 □学生 □その他

		n=	(%)							
*性別×年代	TOTAL	3013	54.8	18.1	5.0	4.9	13.4	3.1	0.7	
	■男性 計	1505	74.6		5.8	3.6	6.8	6.6	2.1	0.5
	■女性 計	1508	34.9	30.4	6.4	3.1	20.2	4.0	0.9	

		n=	(%)						
			正規の社員・職員	パート・アルバイト	派遣・嘱託・契約社員	自営業主・家族従業員	無職・家事	学生	その他
*性別×年代	TOTAL	3013	54.8	18.1	5.0	4.9	13.4	3.1	0.7
	■男性 計	1505	74.6	5.8	3.6	6.8	6.6	2.1	0.5
	10・20代	176	58.0	10.2	4.0	2.3	8.5	15.3	1.7
	30代	448	77.5	6.0	4.2	4.5	7.4	0.4	0.0
	40代	881	76.5	4.8	3.2	8.9	5.8	0.3	0.6
	■女性 計	1508	34.9	30.4	6.4	3.1	20.2	4.0	0.9
	10・20代	414	40.1	17.9	6.8	2.4	17.1	14.5	1.2
	30代	518	34.7	33.4	5.6	2.7	22.2	0.2	1.2
	40代	576	31.4	36.8	6.8	4.0	20.5	0.0	0.5

配偶者の就労状況を性・年代別にみると、男性回答者の配偶者の場合、30代・40代では「パート・アルバイト」(30代：30.6%、40代：42.4%)、「無職・家事」(30代：20.3%、40代：1.5%)の割合が高くなっている。女性回答者の配偶者の場合、いずれの年代でも「正規の社員・職員」が8割を超えている(10・20代：85.1%、30代：90.5%、40代：85.6%)。

○ 配偶者の状況（既婚者のみ）

■正規の社員・職員 ■パート・アルバイト □派遣・嘱託・契約社員 □自営業主・家族従業員 □無職・家事 □学生 □その他

		n=	(%)						
*性別×年代	TOTAL	1580	63.3	18.7	2.7	6.2	8.5	0.4	0.2
	■男性計	744	36.2	37.8	3.6	5.2	16.7	0.4	0.1
	■女性計	836	87.4	1.7	7.1	1.9	1.3	0.4	0.2

		n=	正規の社員・職員	パート・アルバイト	派遣・嘱託・契約社員	自営業主・家族従業員	無職・家事	学生	その他
*性別×年代	TOTAL	1580	63.3	18.7	2.7	6.2	8.5	0.4	0.2
	■男性計	744	36.2	37.8	3.6	5.2	16.7	0.4	0.1
	10・20代	27	59.3	11.1	3.7	0.0	25.9	0.0	0.0
	30代	222	41.0	30.6	4.1	2.7	20.3	0.9	0.5
	40代	495	32.7	42.4	3.4	6.7	14.5	0.2	0.0
	■女性計	836	87.4	1.7	1.9	7.1	1.3	0.4	0.2
	10・20代	134	85.1	2.2	3.7	6.0	1.5	1.5	0.0
	30代	326	90.5	2.1	1.5	5.2	0.6	0.0	0.0
	40代	376	85.6	1.1	1.6	9.0	1.9	0.3	0.5

回答者自身の就労状況を性・婚姻状況別にみると、「現在結婚（事実婚を含む）している」と回答した男性は、「正規の社員・職員」（89.7%）が高い。「結婚したことはない」と回答した男性は、「無職・家事」（13.0%）、「パート・アルバイト」（10.9%）が高い。「現在結婚（事実婚を含む）している」と回答した女性は、「パート・アルバイト」（36.0%）や「無職・家事」（25.2%）が高い。「結婚したことはない」と回答した女性は、既婚者と比べ「正規の社員・職員」が40.7%と高くなっている。

■正規の社員・職員 ■パート・アルバイト ■派遣・嘱託・契約社員 □自営業主・家族従業員 □無職・家事 □学生 □その他

		n=	(%)							
* 性別 × 婚姻状況	TOTAL	3013	54.8	18.1	5.0	4.9	13.4	3.1	0.7	
	■男性 計	1505	74.6		5.8	3.6	6.8	6.6	2.1	0.5
	■女性 計	1508	34.9	30.4	6.4	3.1	20.2	4.0	0.9	

		n=	(%)						
			正規の社員・職員	パート・アルバイト	派遣・嘱託・契約社員	自営業主・家族従業員	無職・家事	学生	その他
* 性別 × 婚姻状況	TOTAL	3013	54.8	18.1	5.0	4.9	13.4	3.1	0.7
	■男性 計	1505	74.6	5.8	3.6	6.8	6.6	2.1	0.5
	現在、結婚(事実婚を含む)している	744	89.7	0.9	1.6	6.3	1.1	0.4	0.0
	結婚していたが、現在は離・死別した	82	69.5	7.3	4.9	13.4	3.7	0.0	1.2
	結婚したことはない	679	58.8	10.9	5.6	6.5	13.0	4.3	1.0
	■女性 計	1508	34.9	30.4	6.4	3.1	20.2	4.0	0.9
	現在、結婚(事実婚を含む)している	836	29.5	36.0	4.8	3.5	25.2	0.0	1.0
	結婚していたが、現在は離・死別した	105	46.7	30.5	12.4	3.8	5.7	0.0	1.0
	結婚したことはない	567	40.7	22.2	7.6	2.5	15.3	10.8	0.9

(5) 出産や子育てに関する意識と現状

問13 お子さんの人数についてうかがいます。以下のそれぞれにあてはまる人数をご記入ください。

<既婚者の場合>

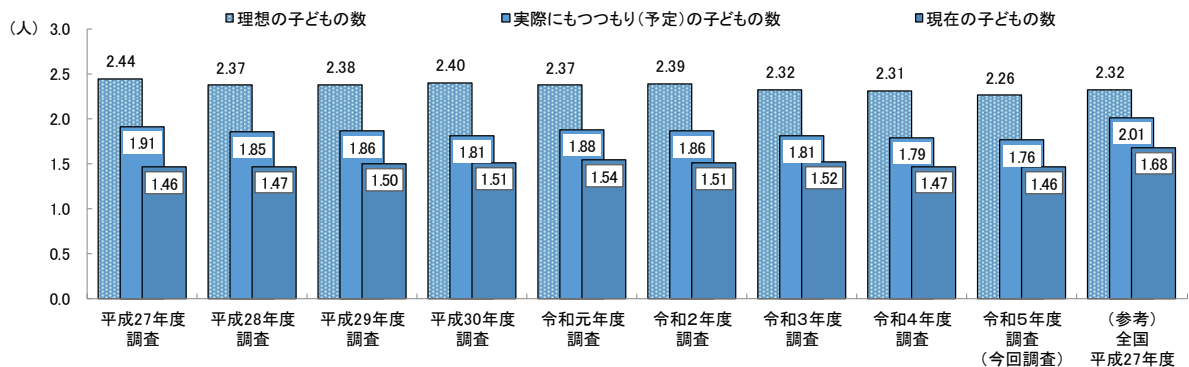
現在の子どもの数は、1人が23.0%、2人が36.9%、3人が13.7%で、平均すると1.46人である。0人の割合は2割強（24.4%）となっている。

理想の子どもの数は、1人が5.1%、2人が45.9%、3人が34.7%で、平均すると2.26人である。

実際に持つつもり（予定）の子どもの数は、理想の数より3人の割合が低くなる一方、1人の割合が高く、1人が18.4%、2人が47.2%、3人が18.0%、平均すると1.76人である。

	n=	0人	1人	2人	3人	4人	5人以上	平均値
現在の子どもの数	1580	24.4	23.0	36.9	13.7	1.6	0.4	1.46
理想の子どもの数	1580	8.6	5.1	45.9	34.7	4.1	1.6	2.26
実際に持つつもり(予定)の子どもの数	1580	14.2	18.4	47.2	18.0	1.8	0.4	1.76

なお、平成27～令和5年度調査（今回調査）までの経年変化は以下のとおりである。平成27年度調査から概ね同程度で推移している。



	平成27年度調査	平成28年度調査	平成29年度調査	平成30年度調査	令和元年度調査	令和2年度調査	令和3年度調査	令和4年度調査	令和5年度調査(今回調査)	(参考) 全国平成27年度
理想の子どもの数	2.44	2.37	2.38	2.40	2.37	2.39	2.32	2.31	2.26	2.32
実際に持つつもり(予定)の子どもの数	1.91	1.85	1.86	1.81	1.88	1.86	1.81	1.79	1.76	2.01
現在の子どもの数	1.46	1.47	1.50	1.51	1.54	1.51	1.52	1.47	1.46	1.68

※全国値は「第15回出生動向基本調査（結婚と出産に関する全国調査）」（国立社会保障・人口問題研究所）より出典

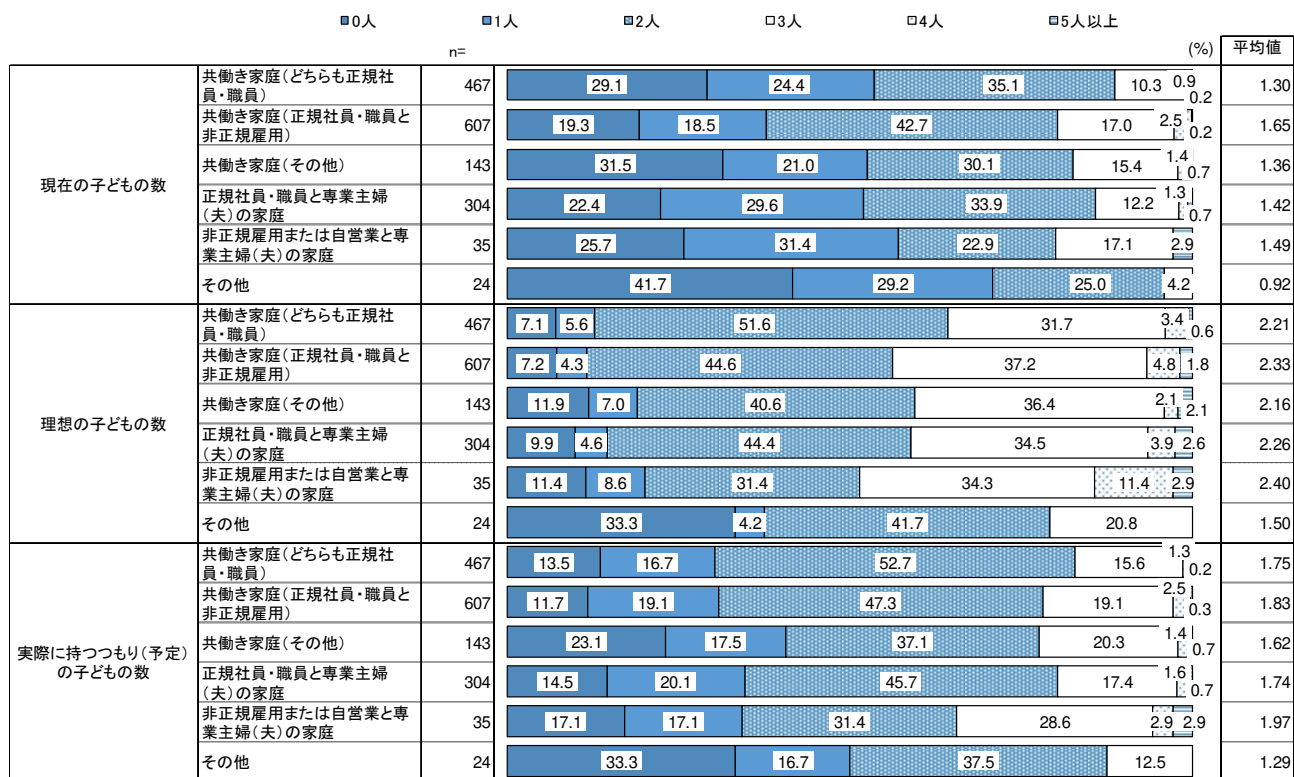
既婚者の性・年代別にみた現在の子ども数、理想の子ども数、実際に持つつもり（予定）の子ども数は、以下のとおりである。

①-1 性・年代別

		n=	0人	1人	2人	3人	4人	5人以上	(%)	平均値
現在の子ども数	■男性 計	744	23.8	22.0	38.0	14.7	1.3	0.1		1.48
	10・20代	27	37.0	40.7	11.1	7.4	3.7			1.00
	30代	222	23.9	27.5	32.9	15.3	0.5			1.41
	40代	495	23.0	18.6	41.8	14.7	1.6	0.2		1.54
	■女性 計	836	24.9	23.9	35.9	12.9	1.8	0.6		1.45
	10・20代	134	37.3	33.6	23.1	6.0				0.98
	30代	326	22.7	24.8	35.9	13.8	2.1	0.6		1.50
理想の子ども数	■男性 計	744	8.6	5.5	48.7	33.5	2.6	1.2		2.19
	10・20代	27	3.7	63.0	25.9	7.4				2.33
	30代	222	4.1	6.8	50.9	35.1	2.7	0.5		2.27
	40代	495	10.9	5.3	46.9	33.1	2.2	1.6		2.15
	■女性 計	836	8.6	4.7	43.5	35.8	5.4	2.0		2.31
	10・20代	134	3.7	6.0	49.3	35.8	5.2			2.33
	30代	326	6.4	4.0	41.7	38.3	6.4	3.1		2.44
実際に持つつもり(予定)の子ども数	■男性 計	744	15.5	17.7	48.3	16.5	1.7	0.3		1.72
	10・20代	27	7.4	11.1	55.6	18.5	7.4			2.07
	30代	222	8.1	20.3	51.4	19.4	0.9			1.85
	40代	495	19.2	17.0	46.5	15.2	1.8	0.4		1.65
	■女性 計	836	13.2	18.9	46.2	19.3	1.9	0.6		1.80
	10・20代	134	3.7	20.9	51.5	23.1	0.7			1.96
	30代	326	8.6	17.5	49.4	21.8	2.1	0.6		1.94
40代	376	20.5	19.4	41.5	15.7	2.1	0.8		1.63	

既婚者の夫婦の働き方別にみると、現在の子どもの数は、共働き家庭（正規社員・職員と非正規雇用）では平均 1.65 人と多く、共働き家庭（どちらも正規社員・職員）では平均 1.30 人と少ない。

①-2 夫婦の働き方別

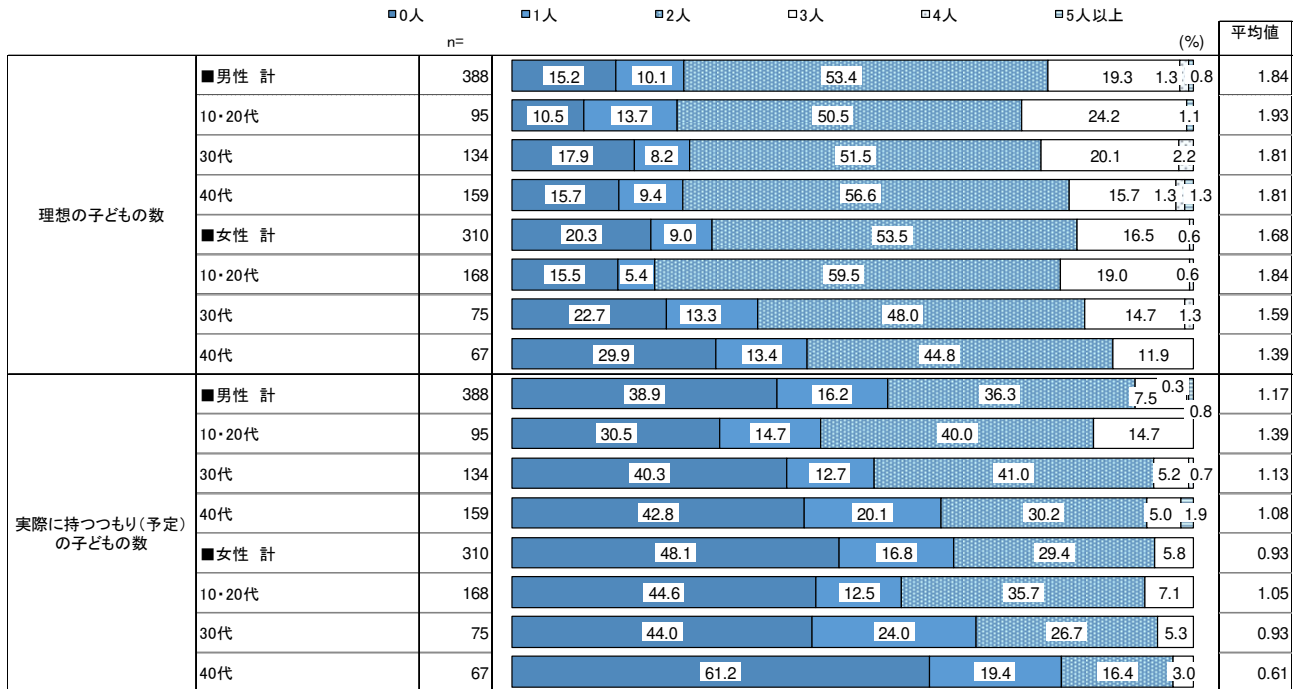


＜独身者のうち結婚予定・意向がある者の場合＞

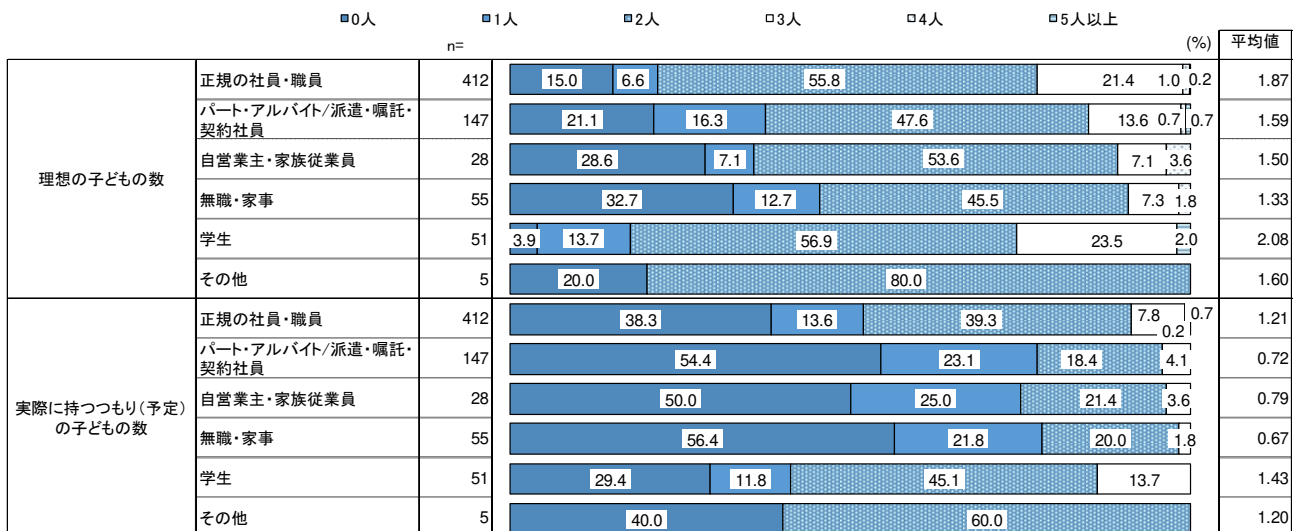
独身者のうち結婚予定・意向がある者を性・年代別にみると、いずれの年代でも理想の子どもの数は2人の割合が高い一方、実際に持つつもり（予定）の子どもの数は0人の割合が既婚者に比べ高い。

雇用形態別にみると、パート・アルバイト／派遣・嘱託・契約社員では、理想の子どもの数は平均1.59人であるのに対し、実際に持つつもり（予定）の子どもの数は平均0.72人と少なくなっている。

②-1 性・年代別



②-2 雇用形態別



<女性 18-34 歳の場合> (希望出生率の算出根拠)

理想の子どもの数は、希望出生率の算出根拠となる「女性 18-34 歳」では、2 人が 56.7%、3 人が 19.5%、平均 1.81 人であった。

実際に持つつもり(予定)の子どもの数は、0 人が 44.8%、1 人が 12.4%、2 人が 35.7%、平均 1.05 人であった。

		n=						平均値	
		0人	1人	2人	3人	4人	5人以上	(%)	
女性18-34歳	理想の子どもの数	210	17.1	5.7	56.7		19.5	1.0	1.81
	実際に持つつもり(予定)の子どもの数	210	44.8	12.4	35.7		7.1		1.05

※既婚者、独身者の「結婚意向なし・わからない」は除く。

<子どもが1人以上いる者の場合>

親からの子育て支援の状況別にみると、いずれかの親から子育ての手助けが「日常的・ひんぱんにあった」人は、理想の子どもの数、実際に持つつもり(予定)の子どもの数ともに3人以上の割合がやや高いが、親からの子育て支援の状況では大きな差はみられない。

子どもが3歳になるまでの期間における親との同居有無別にみると、「同居していた」人は、理想の子どもの数が3人以上の割合がやや高いが、理想の子どもの数・実際に持つつもり(予定)の子どもの数ともに、親との同居有無では大きな差はみられない。

③-1 親からの子育て支援の状況別

		n=						平均値	
		0人	1人	2人	3人	4人	5人以上	(%)	
理想の子どもの数	子育ての手助けが日常的・ひんぱんにあった	710	4.4	44.5		44.4	4.4	2.4	2.56
	子育ての手助けがときどきあった	419	4.3	48.7		39.6	6.2	1.2	2.52
	子育ての手助けがほとんどなかった	193	5.2	47.2		38.3	5.7	3.6	2.56
実際に持つつもり(予定)の子どもの数	子育ての手助けが日常的・ひんぱんにあった	710	20.8	52.7		23.8	2.3	0.4	2.09
	子育ての手助けがときどきあった	419	19.6	56.3		21.0	2.4	0.7	2.09
	子育ての手助けがほとんどなかった	193	23.3	55.4		17.1	2.6	1.6	2.05

※親からの子育て支援は、問 18 の回答をもとに分類した。いずれかの親から「日常的にあった」または「ひんぱんにあった」場合には「子育ての手助けが日常的・ひんぱんにあった」、いずれかの親から「ときどきあった」場合には「子育ての手助けがときどきあった」、いずれの親からも「ほとんどなかった」、または親が「いなかった」「わからない」場合には「子育ての手助けがほとんどなかった」としている。

③-2 親との同居有無別

		n=						平均値	
		0人	1人	2人	3人	4人	5人以上	(%)	
理想の子どもの数	同居していた	331	5.7	42.3		43.8	4.5	3.6	2.58
	誰とも同居していなかった	991	4.0	47.5		41.4	5.3	1.7	2.53
実際に持つつもり(予定)の子どもの数	同居していた	331	23.3	51.4		21.8	2.7	0.9	2.07
	誰とも同居していなかった	991	20.0	55.2		22.0	2.2	0.6	2.09

※親との同居の有無は、問 17 の回答をもとに分類した。いずれかの親と同居していた場合には「同居していた」、いずれの親とも同居していなかった場合には「誰とも同居していなかった」、または親が「いなかった」「わからない」場合には「誰とも同居していなかった」としている。

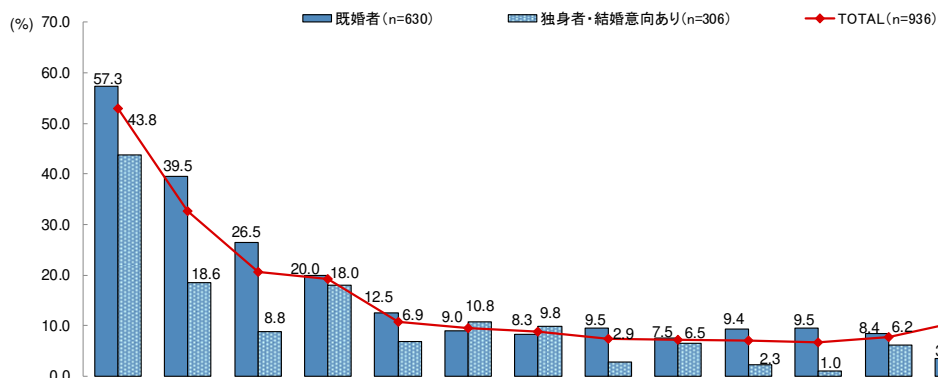
問14 持つつもりの子どもの数が、理想の子どもの数より少ないのはどうしてですか。あてはまる理由をお答えください。(回答はいくつでも)

【既婚者または独身者のうち結婚予定・意向がある者で、問13で「実際に持つつもり(予定)の子どもの数」が「理想の子どもの数」より少ない人数を回答した者】

実際に持つつもり(予定)の子どもの数が理想の子どもの数よりも少ない理由としては、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」(52.9%)が最も高い。次いで、「自分または配偶者(パートナー)の年齢的理由から」(32.7%)、「これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから」(20.7%)と続く。

既婚者についてみると、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」(57.3%)、「自分または配偶者(パートナー)の年齢的理由から」(39.5%)、「これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから」(26.5%)等の上位の理由は、いずれも全体でみた場合よりも高くなっている。

独身で結婚意向がある者についてみると、既婚者に比べ経済的・年齢的な理由を挙げる割合は低い。一方、「子どもがのびのび育つ社会環境ではないから」(10.8%)、「自分や夫婦の生活を大切にしたいから」(9.8%)、「特に理由はない」(25.8%)は既婚者に比べて高くなっている。



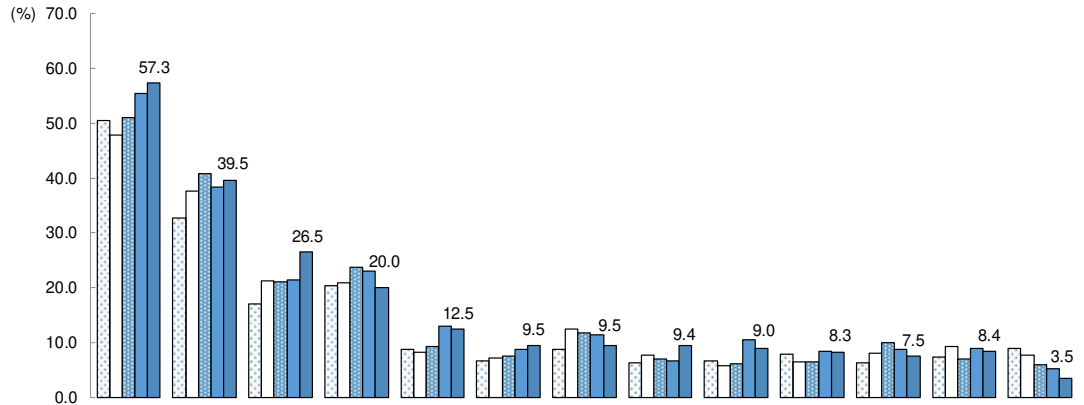
		n=	子育てや教育にお金がかかりすぎるから	自分または配偶者(パートナー)の年齢的理由から	これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから	健康面・体調面の理由から	自分の仕事(勤め)や家業に差し支えるから	子どもがのびのび育つ社会環境ではないから	自分や夫婦の生活を大切にしたいから	家が狭いから	自分や配偶者(パートナー)の定年退職までに成人してほしいから	家族(パートナー)の家事・育児への協力が得られないから	家族(パートナー)が望まないから	その他	特に理由はない
	TOTAL	936	52.9	32.7	20.7	19.3	10.7	9.6	8.8	7.4	7.2	7.1	6.7	7.7	10.8
* 婚姻状況	既婚者	630	57.3	39.5	26.5	20.0	12.5	9.0	8.3	9.5	7.5	9.4	9.5	8.4	3.5
	独身者・結婚意向あり	306	43.8	18.6	8.8	18.0	6.9	10.8	9.8	2.9	6.5	2.3	1.0	6.2	25.8

※グラフはTOTALの順でソート

既婚者の回答について5年間の推移を比較すると、「これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから」は、やや増加している。

<既婚者の場合>

□令和元年度調査(n=729) □令和2年度調査(n=771) □令和3年度調査(n=710) □令和4年度調査(n=677) ■令和5年度調査(今回調査)(n=630)



n=	子育てや教育にお金がかかりすぎるから	自分または配偶者(パートナー)の年齢的理由から	これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから	健康面・体調面の理由から	自分の仕事(勤め)や家業に差し支えるから	家が狭いから	家族(パートナー)が望まないから	家族(パートナー)の家事・育児への協力が得られないから	子どもがのびのび育つ社会環境ではないから	自分や夫婦の生活を大切にしたいから	自分や配偶者(パートナー)の定年退職までに成人してほしいから	その他	特に理由はない	
令和5年度調査(今回調査)	630	57.3	39.5	26.5	20.0	12.5	9.5	9.5	9.4	9.0	8.3	7.5	8.4	3.5
令和4年度調査	677	55.5	38.3	21.4	23.0	13.0	8.7	11.4	6.6	10.5	8.4	8.7	8.9	5.2
令和3年度調査	710	51.0	40.8	21.0	23.7	9.3	7.5	11.8	7.0	6.1	6.5	9.9	6.9	5.9
令和2年度調査	771	47.9	37.7	21.3	20.9	8.3	7.1	12.5	7.7	5.8	6.5	8.0	9.2	7.7
令和元年度調査	729	50.5	32.8	17.0	20.3	8.8	6.7	8.8	6.6	6.6	7.8	6.2	7.4	8.9

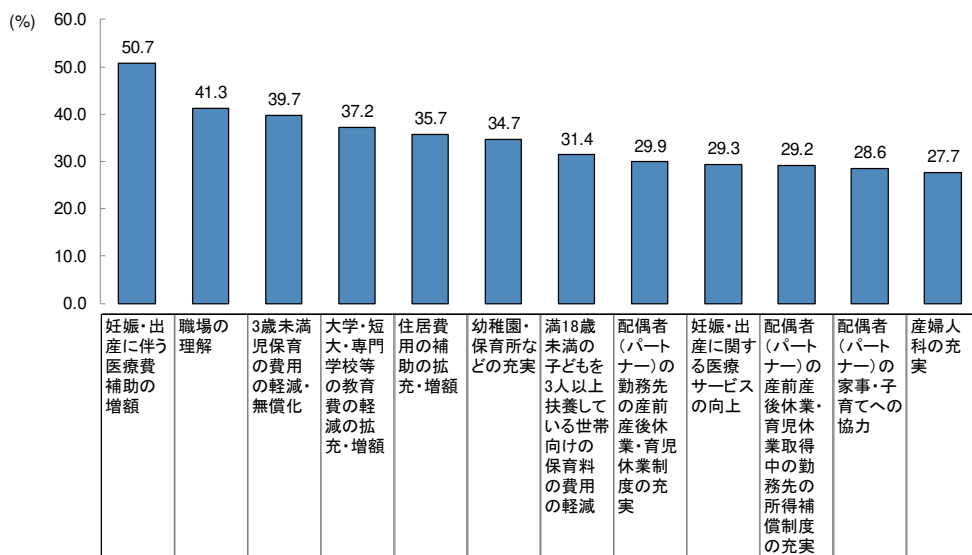
※グラフは今回調査の順でソート

問15 長野県では様々な施策をしていますが、2人、3人と出産し、育てていくためには、今後更にどんなことが必要だと思われますか。（回答はいくつでも）

【既婚者または独身者のうち結婚予定・意向がある者で、問13で「実際に持つつもり（予定）の子どもの数」が「理想の子どもの数」より少ない人数を回答した者】

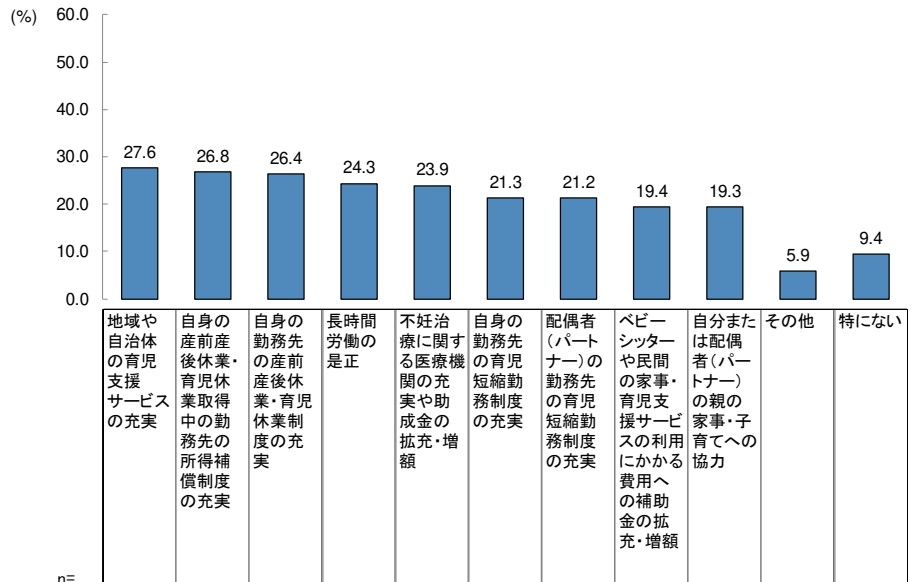
2人、3人と出産し、育てていくために必要だと思うことは、「妊娠・出産に伴う医療費補助の増額」(50.7%)が最も高い。次いで、「職場の理解」(41.3%)、「3歳未満児保育の費用の軽減・無償化」(39.7%)、「大学・短大・専門学校等の教育費の軽減の拡充・増額」(37.2%)と続く。

性・年代別にみると、男性30代では「住居費用の補助の拡充・増額」(45.9%)、「長時間労働の是正」(33.8%)が高い。女性のほうが男性よりも必要だと思うことを多く挙げており、特に「配偶者（パートナー）の家事・子育てへの協力」(男性15.8%、女性40.4%)、「配偶者（パートナー）の勤務先の産前産後休業・育児休業制度の充実」(男性24.1%、女性35.2%)、「配偶者（パートナー）の産前産後休業・育児休業中の勤務先の所得補償制度の充実」(男性25.4%、女性32.6%)となっており、配偶者（パートナー）自身の協力と配偶者（パートナー）の勤務先の制度の充実を望んでいることがうかがえる。



		n=	50.7	41.3	39.7	37.2	35.7	34.7	31.4	29.9	29.3	29.2	28.6	27.7
TOTAL		936	50.7	41.3	39.7	37.2	35.7	34.7	31.4	29.9	29.3	29.2	28.6	27.7
*性別×年代	■男性 計	448	46.9	34.6	34.8	32.4	36.6	29.9	31.3	24.1	25.2	25.4	15.8	22.1
	10・20代	42	38.1	47.6	28.6	38.1	35.7	31.0	23.8	16.7	21.4	23.8	11.9	16.7
	30代	133	55.6	32.3	44.4	33.8	45.9	33.1	38.3	26.3	29.3	29.3	18.8	28.6
	40代	273	44.0	33.7	31.1	30.8	32.2	28.2	28.9	24.2	23.8	23.8	15.0	19.8
	■女性 計	488	54.3	47.5	44.3	41.6	34.8	39.1	31.6	35.2	33.0	32.6	40.4	32.8
	10・20代	127	66.9	45.7	51.2	43.3	39.4	43.3	34.6	33.9	40.2	33.1	29.9	26.0
	30代	172	57.0	49.4	51.7	39.5	41.9	47.1	40.1	45.3	34.9	41.9	44.8	36.6
	40代	189	43.4	47.1	32.8	42.3	25.4	29.1	21.7	27.0	26.5	23.8	43.4	33.9

(前表のつづき)

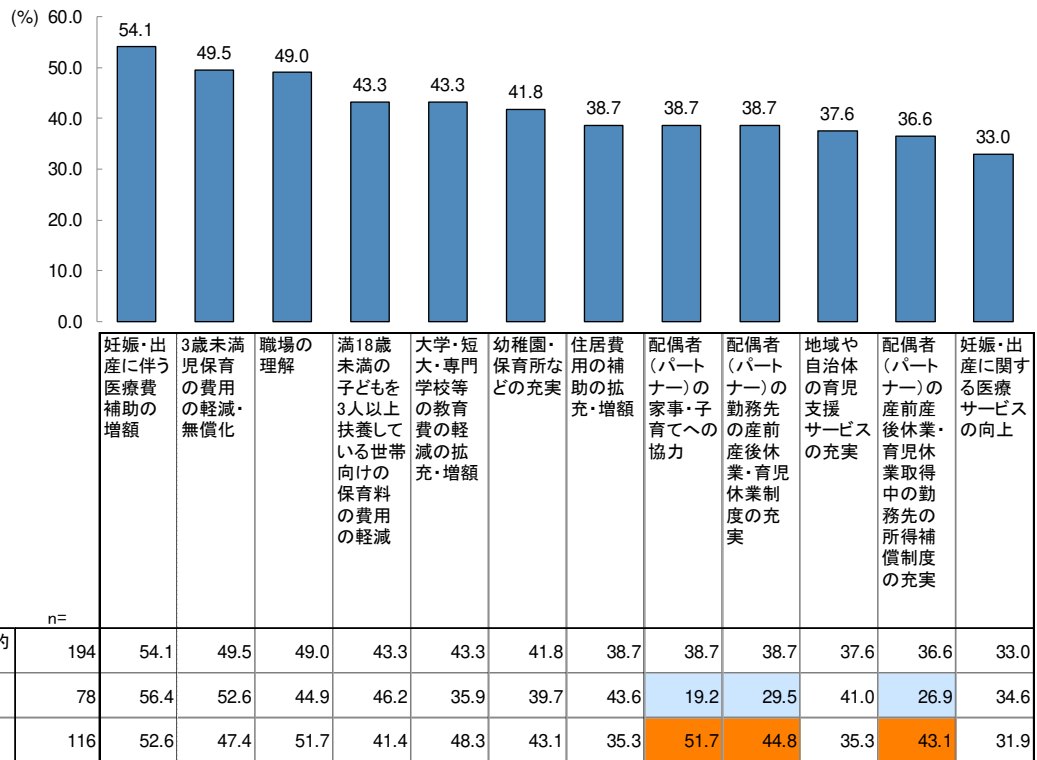


		n=	27.6	26.8	26.4	24.3	23.9	21.3	21.2	19.4	19.3	5.9	9.4
	TOTAL	936	27.6	26.8	26.4	24.3	23.9	21.3	21.2	19.4	19.3	5.9	9.4
*性別×年代	■男性 計	448	25.0	23.2	24.3	27.0	19.2	17.9	17.6	15.0	15.6	4.9	12.5
	10・20代	42	23.8	26.2	23.8	35.7	7.1	11.9	14.3	14.3	16.7	2.4	19.0
	30代	133	25.6	30.8	31.6	33.8	21.1	25.6	24.1	15.0	20.3	4.5	6.8
	40代	273	24.9	19.0	20.9	22.3	20.1	15.0	15.0	15.0	13.2	5.5	14.3
	■女性 計	488	29.9	30.1	28.3	21.7	28.3	24.4	24.4	23.6	22.7	6.8	6.6
	10・20代	127	25.2	37.0	31.5	24.4	18.1	23.6	19.7	16.5	22.0	0.8	7.9
	30代	172	32.6	30.8	32.6	23.3	27.9	26.7	36.0	29.1	25.0	8.1	4.7
	40代	189	30.7	24.9	22.2	18.5	35.4	22.8	16.9	23.3	21.2	9.5	7.4

問 14 で「これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから」と回答した者の場合、「妊娠・出産に伴う医療費補助の増額」(54.1%) が最も高い。次いで、「3歳未満児保育の費用の軽減・無償化」(49.5%)、「職場の理解」(49.0%) と続く。

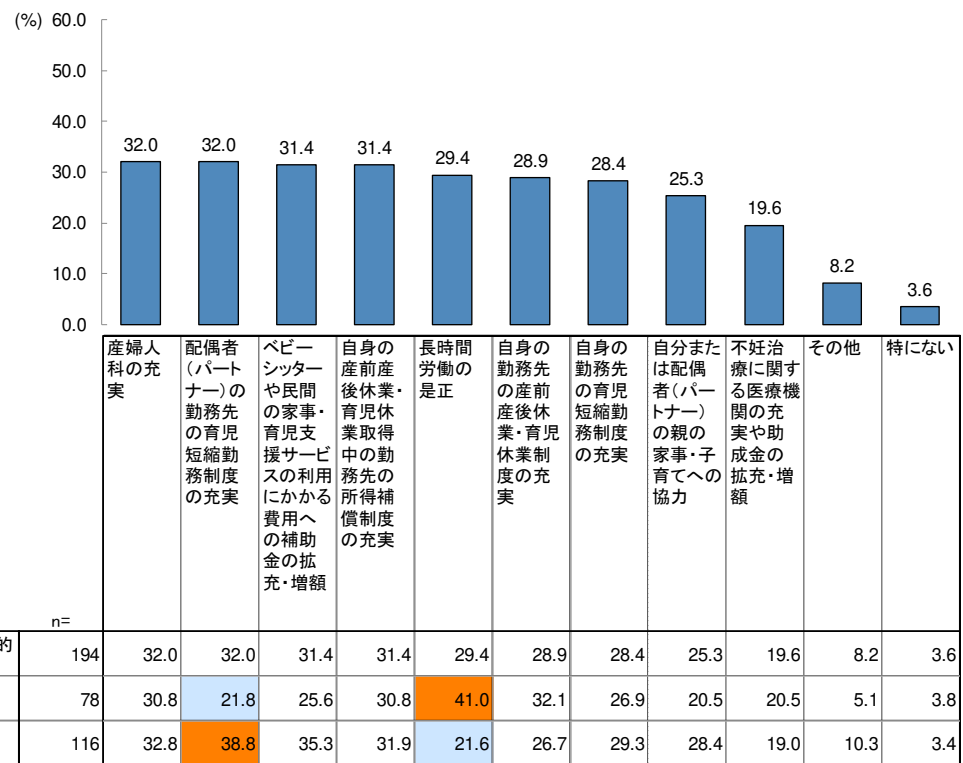
性別にみると、「配偶者（パートナー）の家事・子育てへの協力」、「配偶者（パートナー）の勤務先の産前産後休業・育児休業制度の充実」、「配偶者（パートナー）の産前産後休業・育児休業取得中の勤務先の所得補償制度の充実」、「配偶者（パートナー）の勤務先の育児短縮勤務制度の充実」は、男性よりも女性のほうが高くなっている。一方、「長時間労働の是正」は女性よりも男性のほうが高い。

<問 14 で「これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから」と回答した者の場合>



n=	これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから	妊娠・出産に伴う医療費補助の増額	3歳未満児保育の費用の軽減・無償化	職場の理解	満18歳未満の子どもを3人以上扶養している世帯向けの保育料の費用の軽減	大学・短大・専門学校等の教育費の軽減の拡充・増額	幼稚園・保育所などの充実	住居費用補助の拡充・増額	配偶者（パートナー）の家事・子育てへの協力	配偶者（パートナー）の勤務先の産前産後休業・育児休業制度の充実	地域や自治体の育児支援サービスの充実	配偶者（パートナー）の産前産後休業・育児休業取得中の勤務先の所得補償制度の充実	妊娠・出産に関する医療サービスの向上
これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから	194	54.1	49.5	49.0	43.3	43.3	41.8	38.7	38.7	38.7	37.6	36.6	33.0
男性	78	56.4	52.6	44.9	46.2	35.9	39.7	43.6	19.2	29.5	41.0	26.9	34.6
女性	116	52.6	47.4	51.7	41.4	48.3	43.1	35.3	51.7	44.8	35.3	43.1	31.9

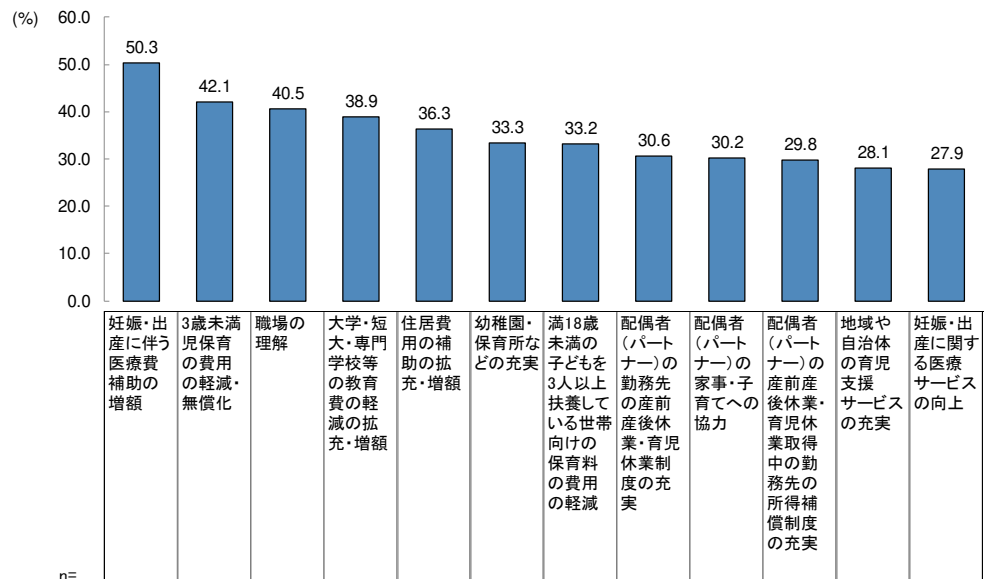
(前表のつづき)



既婚者の場合、「妊娠・出産に伴う医療費補助の増額」(50.3%)が最も高い。次いで、「3歳未満児保育の費用の軽減・無償化」(42.1%)、「職場の理解」(40.5%)と続く。

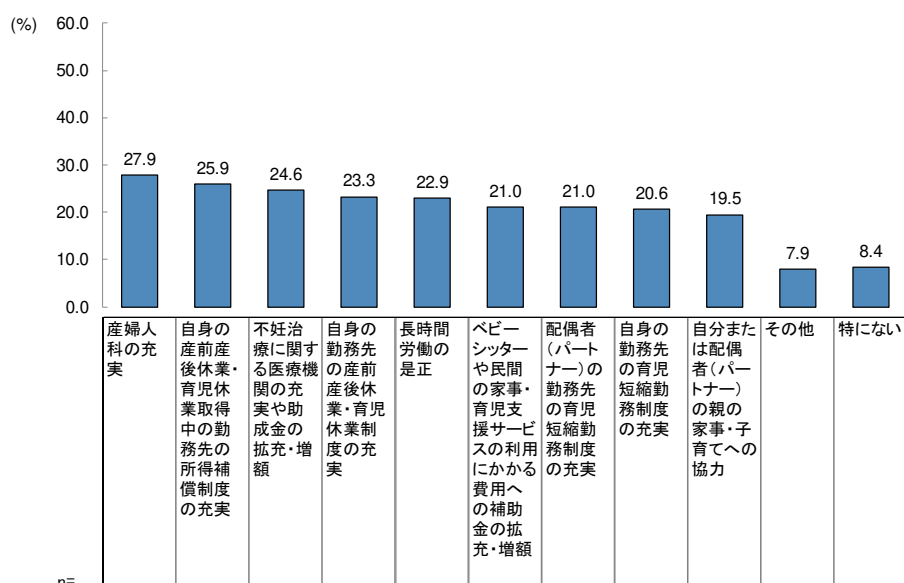
性・年代別にみると、女性10代～30代では「3歳未満児保育の費用の軽減・無償化」(10・20代：65.3%、30代：54.7%)、「幼稚園・保育所などの充実」(10・20代：51.0%、30代：48.2%)が高い。女性30代～40代では「配偶者(パートナー)の家事・子育てへの協力」(30代：43.8%、40代：43.4%)が高い。男性30代では「妊娠・出産に伴う医療費補助の増額」(61.3%)、「3歳未満児保育の費用の軽減・無償化」(55.0%)、「住居費費用の補助の拡充・増額」(51.3%)が高く、金銭的な施策が必要と感じていることがうかがえる。

<既婚者の場合>



		n=													
		TOTAL	630	50.3	42.1	40.5	38.9	36.3	33.3	33.2	30.6	30.2	29.8	28.1	27.9
*性別×年代	■男性 計	285	48.1	37.5	33.7	34.4	37.9	27.4	35.1	24.6	17.2	25.6	24.9	25.6	
	10・20代	9	55.6	33.3	44.4	55.6	44.4	33.3	33.3	22.2	44.4	44.4	33.3	44.4	
	30代	80	61.3	55.0	32.5	40.0	51.3	31.3	48.8	27.5	18.8	28.8	27.5	35.0	
	40代	196	42.3	30.6	33.7	31.1	32.1	25.5	29.6	23.5	15.3	23.5	23.5	20.9	
	■女性 計	345	52.2	45.8	46.1	42.6	35.1	38.3	31.6	35.7	40.9	33.3	30.7	29.9	
	10・20代	49	75.5	65.3	49.0	42.9	44.9	51.0	44.9	38.8	24.5	38.8	24.5	38.8	
	30代	137	57.7	54.7	47.4	42.3	43.1	48.2	41.6	46.0	43.8	43.1	35.8	33.6	
	40代	159	40.3	32.1	44.0	42.8	25.2	25.8	18.9	25.8	43.4	23.3	28.3	23.9	

(前表のつづき)



		n=	産婦人科の充実	自身の産前産後休業・育児休業取得中の勤務先の所得補償制度の充実	不妊治療に関する医療機関の充実や助成金の拡充・増額	自身の勤務先の産前産後休業・育児休業制度の充実	長時間労働の是正	ベビーシッターや民間の家事・育児支援サービスの利用にかかる費用への補助金の拡充・増額	配偶者(パートナー)の勤務先の育児短縮勤務制度の充実	自身の勤務先の育児短縮勤務制度の充実	自分または配偶者(パートナー)の親の家事・子育てへの協力	その他	特になし
TOTAL		630	27.9	25.9	24.6	23.3	22.9	21.0	21.0	20.6	19.5	7.9	8.4
* 性別 × 年代	■ 男性 計	285	22.5	23.5	21.4	21.8	26.7	14.4	16.1	17.2	15.8	6.3	11.9
	10・20代	9	33.3	44.4	11.1	33.3	44.4	22.2	22.2	0.0	33.3	11.1	11.1
	30代	80	27.5	35.0	26.3	31.3	33.8	16.3	21.3	25.0	21.3	5.0	3.8
	40代	196	19.9	17.9	19.9	17.3	23.0	13.3	13.8	14.8	12.8	6.6	15.3
	■ 女性 計	345	32.5	27.8	27.2	24.6	19.7	26.4	24.9	23.5	22.6	9.3	5.5
	10・20代	49	24.5	34.7	18.4	26.5	20.4	24.5	18.4	22.4	20.4	2.0	0.0
	30代	137	35.8	29.9	24.8	29.2	21.2	32.1	37.2	27.0	26.3	10.2	5.1
	40代	159	32.1	23.9	32.1	20.1	18.2	22.0	16.4	20.8	20.1	10.7	7.5

問16 子どもを希望しない理由、子どもを持たないかもしれないと思う理由は何ですか。

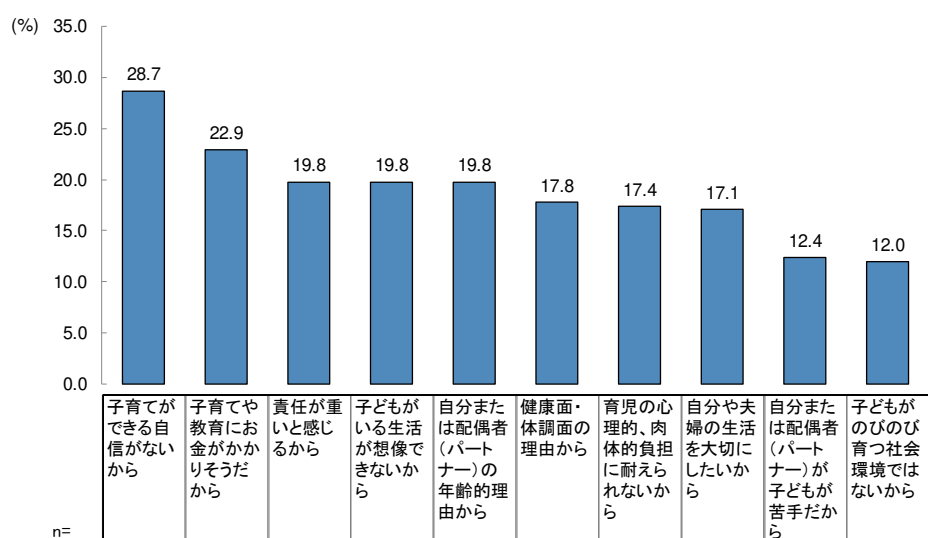
(回答はいくつでも)

【既婚者または独身者のうち結婚予定・意向がある者で、問13で「理想の子どもの数」を0人と回答した者】

子どもを希望しない理由、子どもを持たないかもしれないと思う理由は、「子育てができる自信がないから」(28.7%)が最も高い。次いで、「子育てや教育にお金がかかりそうだから」(22.9%)、「責任が重いとを感じるから」(19.8%)と続く。

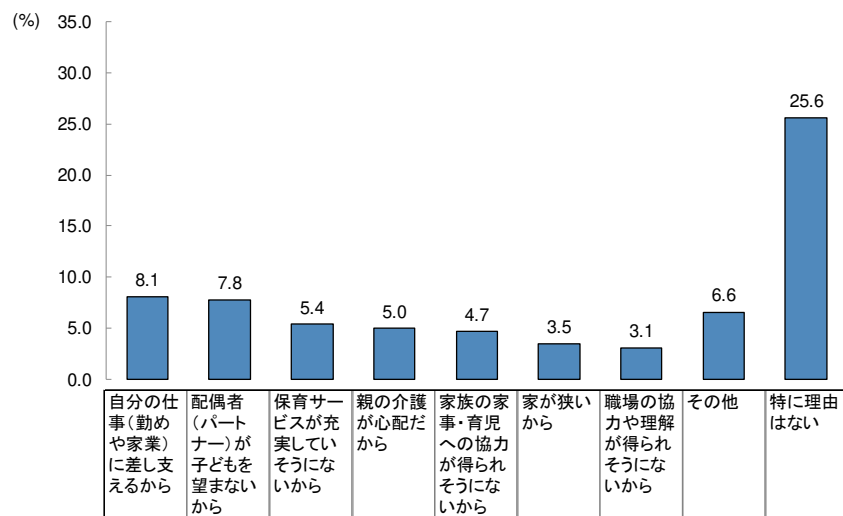
既婚者についてみると、「健康面・体調面の理由から」(24.3%)が高くなっている。

独身で結婚意向がある者についてみると、既婚者と同様に「子育てができる自信がないから」(30.3%)や「子育てや教育にお金がかかりそうだから」(24.6%)が高い一方で、「特に理由はない」も約3割(32.0%)となっている。



		n=	子育てができる自信がないから	子育てや教育にお金がかかりそうだから	責任が重いとを感じるから	子どもがいる生活が想像できないから	自分または配偶者(パートナー)の年齢的理由から	健康面・体調面の理由から	育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから	自分や夫婦の生活を大切にしたいから	自分または配偶者(パートナー)が子どもが苦手だから	子どもがのびのび育つ社会環境ではないから
	TOTAL	258	28.7	22.9	19.8	19.8	19.8	17.8	17.4	17.1	12.4	12.0
* 婚姻状況	既婚者	136	27.2	21.3	21.3	20.6	23.5	24.3	19.9	20.6	16.2	12.5
	独身者・結婚意向あり	122	30.3	24.6	18.0	18.9	15.6	10.7	14.8	13.1	8.2	11.5

(前表のつづき)



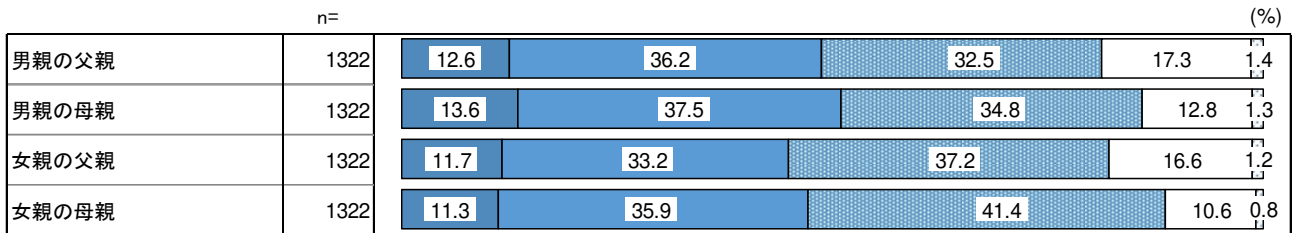
		n=	自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから	配偶者(パートナー)が子どもを望まないから	保育サービスが充実していないから	親の介護が心配だから	家族の家事・育児への協力が得られないから	家が狭いから	職場の協力や理解が得られないから	その他	特に理由はない
	TOTAL	258	8.1	7.8	5.4	5.0	4.7	3.5	3.1	6.6	25.6
* 婚姻状況	既婚者	136	10.3	8.8	4.4	4.4	4.4	3.7	2.9	7.4	19.9
	独身者・結婚意向あり	122	5.7	6.6	6.6	5.7	4.9	3.3	3.3	5.7	32.0

問17 お子さんが3歳になるまでの間、あなたや配偶者（パートナー）のご両親と同居していましたか。
 （回答はそれぞれ1つ） 【回答者：子どもが1人以上いる者】

男親の親と同居していた者は1割強となっており（父親：12.6%、母親：13.6%）、徒歩で30分程度の別居（近居）は3割を超えている（父親：36.2%、母親：37.5%）。

女親の親と同居していた者は約1割となっており（父親：11.7%、母親：11.3%）、徒歩で30分程度の別居（近居）は3割を超えている（父親：33.2%、母親：35.9%）。

■同居 ■別居(近居) ■別居(近居以外) □いなかった □わからない

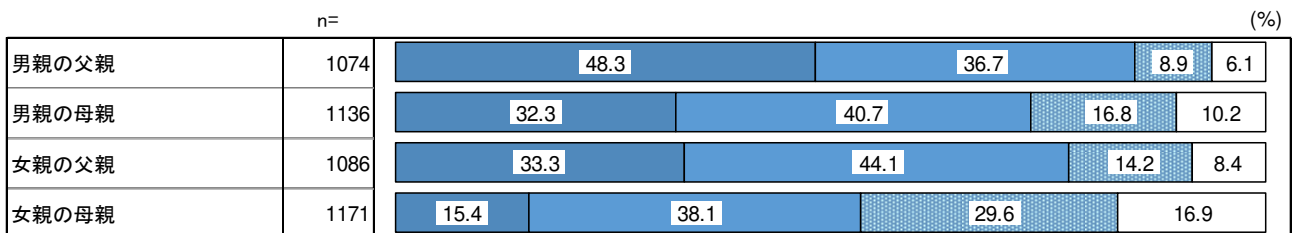


※回答者あるいは回答者の配偶者が男性の場合は「男親」とし、回答者あるいは回答者の配偶者が女性の場合は「女親」として、それぞれの父親、母親について集計を行った。

問18 お子さんが3歳になるまでの間、あなたや配偶者（パートナー）のご両親からの子育ての手助けはありましたか。もっともあてはまる状況についてお答えください。（回答はそれぞれ1つ）
 【回答者：親が健在であった者】

女親の母親からは、手助けが「ほとんどなかった」は15.4%で、8割強（84.6%）は手助けがあったと回答している。男親の母親からは、手助けが「ほとんどなかった」が32.3%であり、女親の父親と似た傾向を示している。一方、男親の父親からは、手助けは「ほとんどなかった」が約半数（48.3%）となっている。

■ほとんどなかった ■ときどきあった ■ひんぱんにあった □日常的にあった



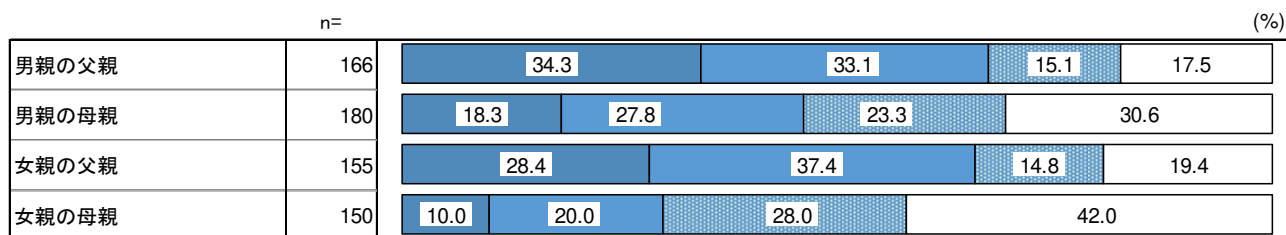
※回答者あるいは回答者の配偶者が男性の場合は「男親」とし、回答者あるいは回答者の配偶者が女性の場合は「女親」として、それぞれの父親、母親について集計を行った。

同居の場合、女親の母親からの手助けは 42.0%が、男親の母親からの手助けは 30.6%が「日常的にあった」としている。

別居（近居）の場合、女親の母親からの手助けは 40.1%が「ひんぱんにあった」としている。また、男親の父親からの手助けは 42.7%、男親の母親からの手助けは 46.6%、女親の父親からの手助けは 46.0%が「ときどきあった」としている。

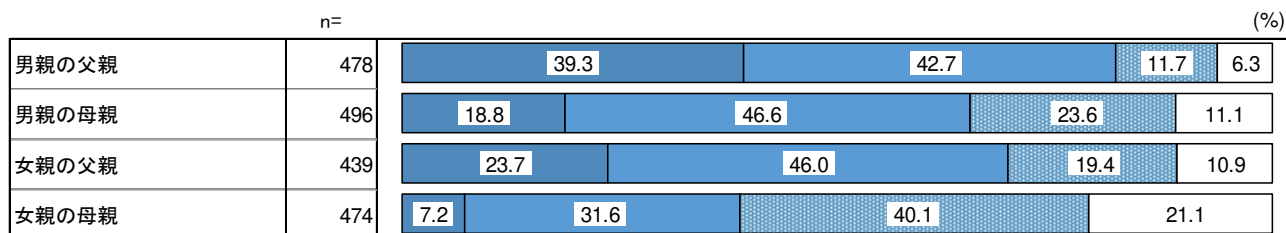
① 同居

■ほとんどなかった ■ときどきあった ■ひんぱんにあった □日常的にあった



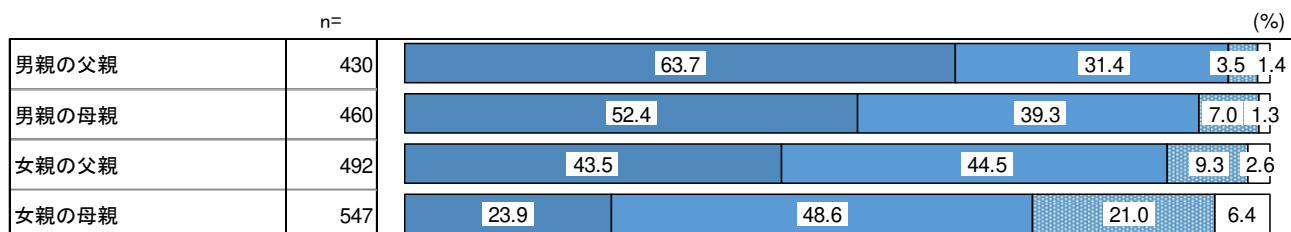
② 別居（近居）

■ほとんどなかった ■ときどきあった ■ひんぱんにあった □日常的にあった



③ 別居（近居以外）

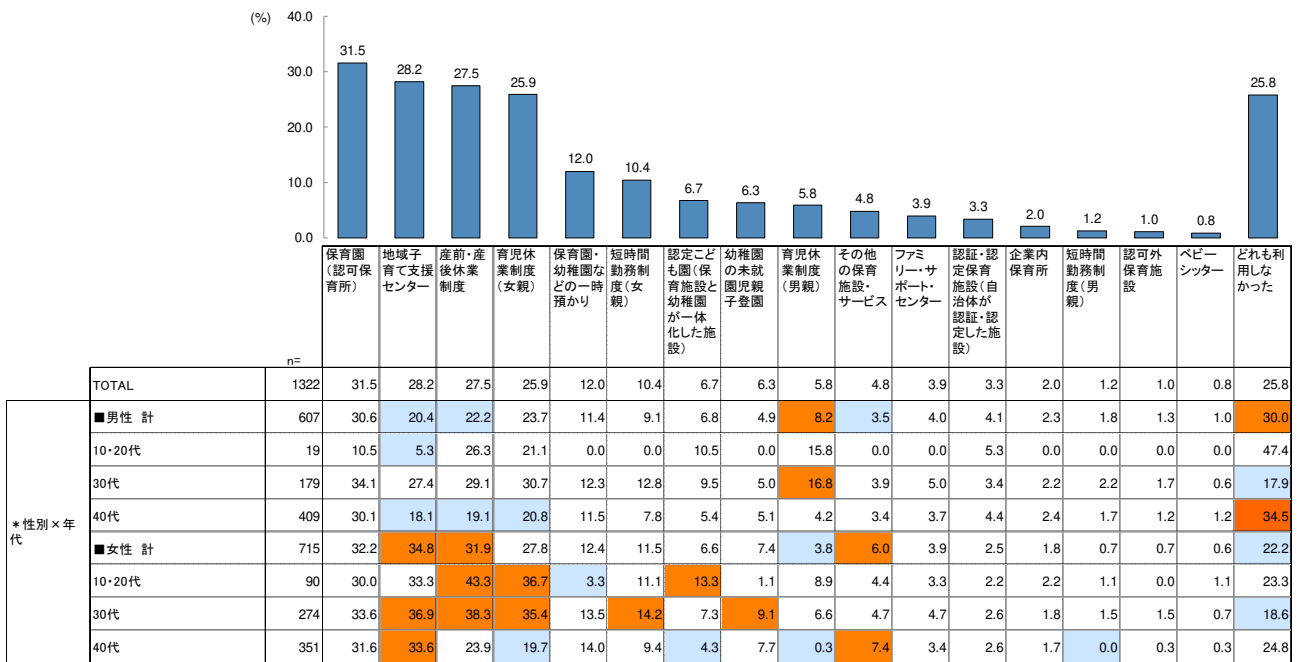
■ほとんどなかった ■ときどきあった ■ひんぱんにあった □日常的にあった



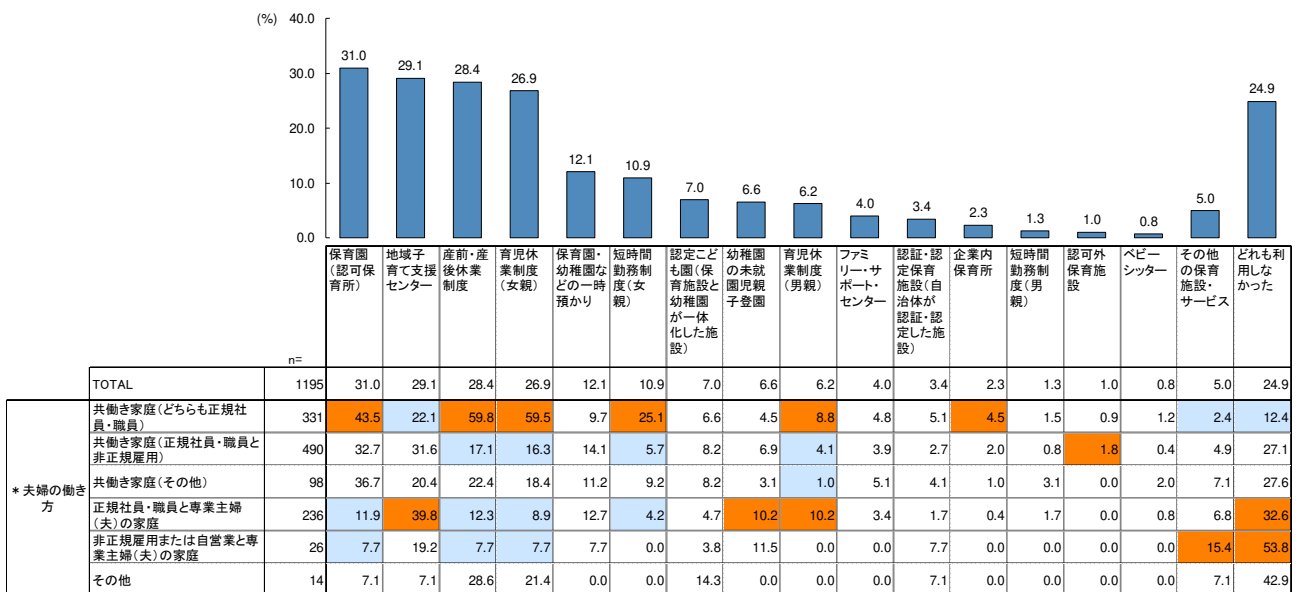
問19 お子さんが3歳になるまでの間、以下の制度や施設を利用しましたか。あてはまる状況についてお答えください。(回答はいくつでも) 【回答者：子どもが1人以上いる者】

利用した制度・施設は「保育園（認可保育所）」(31.5%)が最も高い。次いで、「地域子育て支援センター」(28.2%)、「産前・産後休業制度」(27.5%)と続く。また、「育児休業制度（女親）」は25.9%となっているが、「育児休業制度（男親）」は5.8%にとどまっている。

性・年代別にみると、男性30代は、「育児休暇制度（男親）」(16.8%)が高い。女性10・20代及び30代は、「産前・産後休業制度」(43.3%)、女性40代では「地域子育て支援センター」(33.6%)が高い。



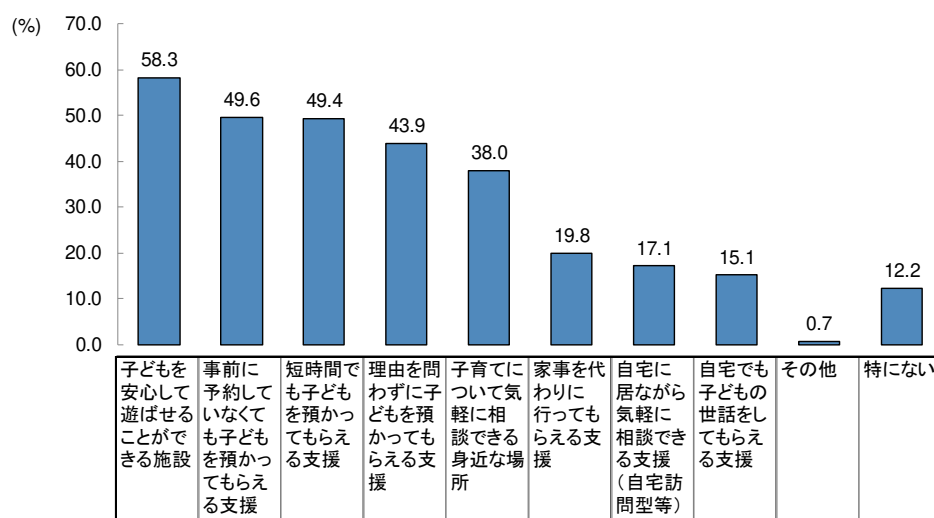
夫婦の働き方別にみると、共働き家庭(どちらも正規社員・職員)では、「産前・産後休業制度」(59.8%)、「育児休業制度（女親）」(59.5%)、「保育園（認可保育所）」(43.5%)が高い。正規社員・職員と専業主婦(夫)の家庭では、「地域子育て支援センター」(39.8%)が高くなっている。



問20 幼稚園や保育園を利用することなく家庭内で未就学児の子育てをするときに、どんな支援があるとよい（あるとよかった）と思うかお答えください。（回答はいくつでも）
【回答者：子どもが1人以上いる者】

家庭内で未就学児の子育てをするときにあるとよいと思う支援は、「子どもを安心して遊ばせることができる施設」（58.3%）が最も高い。次いで、「事前に予約していなくても子どもを預かってもらえる支援」（49.6%）、「短時間でも子どもを預かってもらえる支援」（49.4%）と続く。

性・年代別にみると、女性30代は「子どもを安心して遊ばせることができる施設」（68.6%）、「短時間でも子どもを預かってもらえる支援」（59.9%）など、多くの項目でほかの性・年代に比べて高くなっている。



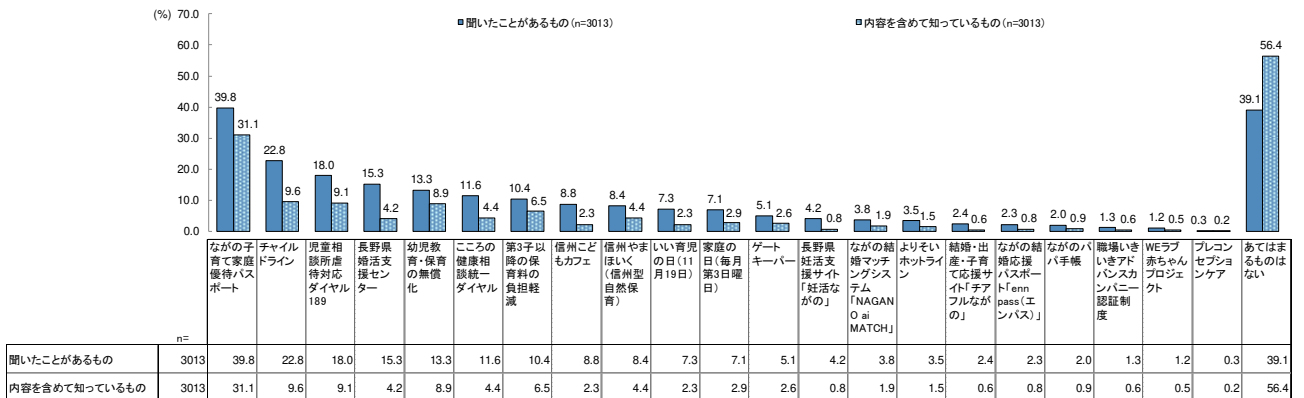
		n=	子どもを安心して遊ばせることができる施設	事前に予約していなくても子どもを預かってもらえる支援	短時間でも子どもを預かってもらえる支援	理由を問わずに子どもを預かってもらえる支援	子育てについて気軽に相談できる身近な場所	家事を代わりに行ってもらえる支援	自宅に居ながら気軽に相談できる支援（自宅訪問型等）	自宅でも子どもの世話をしてもらえる支援	その他	特になし
TOTAL		1322	58.3	49.6	49.4	43.9	38.0	19.8	17.1	15.1	0.7	12.2
*性別×年代	■男性 計	607	53.4	43.5	40.0	37.2	34.1	16.8	16.8	13.5	0.7	15.7
	10・20代	19	52.6	36.8	26.3	42.1	21.1	21.1	10.5	15.8	0.0	15.8
	30代	179	62.0	46.9	43.6	36.9	35.8	17.3	18.4	15.1	0.0	11.2
	40代	409	49.6	42.3	39.1	37.2	34.0	16.4	16.4	12.7	1.0	17.6
	■女性 計	715	62.5	54.8	57.3	49.5	41.3	22.4	17.3	16.4	0.7	9.2
	10・20代	90	51.1	45.6	47.8	45.6	24.4	18.9	15.6	15.6	1.1	15.6
	30代	274	68.6	58.4	59.9	51.1	42.7	27.0	19.3	19.0	0.4	9.1
	40代	351	60.7	54.4	57.8	49.3	44.4	19.7	16.2	14.5	0.9	7.7

問21 次の結婚・子育て支援や若者支援の取組のうち、あなたが聞いたことがあるもの、内容も含めて知っているものはどれですか。(回答はそれぞれいくつでも)

結婚・子育て支援や若者支援の取組のうち、聞いたことがあるものとしては、「ながの子育て家庭優待パスポート」(39.8%)が最も高い。次いで、「チャイルドライン」(22.8%)、「児童相談所虐待対応ダイヤル189」(18.0%)と続く。

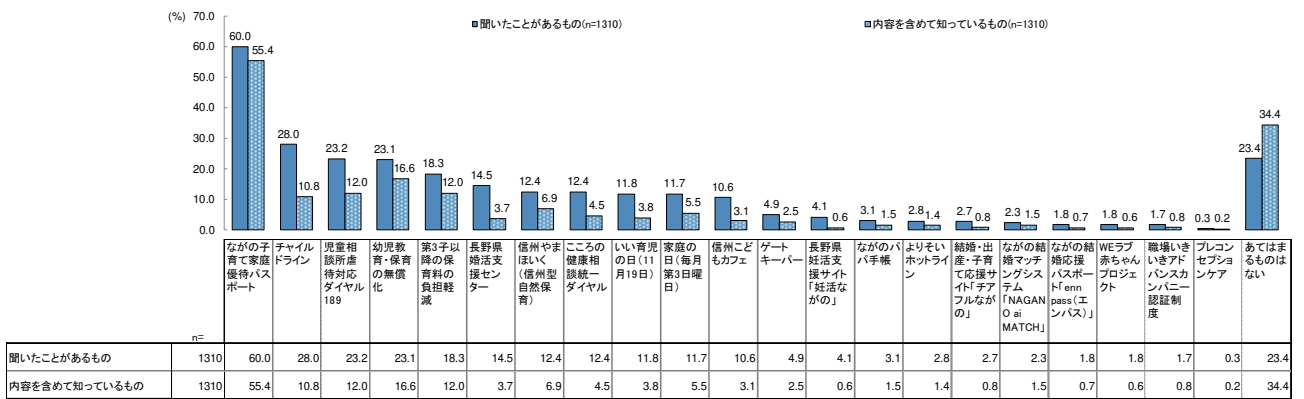
内容を含めて知っているものは、「ながの子育て家庭優待パスポート」(31.1%)が最も高い。

なお、既婚者・結婚経験者(離・死別者)のうち、子どもがいる者の「ながの子育て家庭優待パスポート」を「聞いたことがある」は60.0%、「内容を含めて知っている」は55.4%であった。



※グラフは「聞いたことがあるもの」の順でソート

<既婚者・結婚経験者(離・死別者)のうち、子どもがいる者の場合>

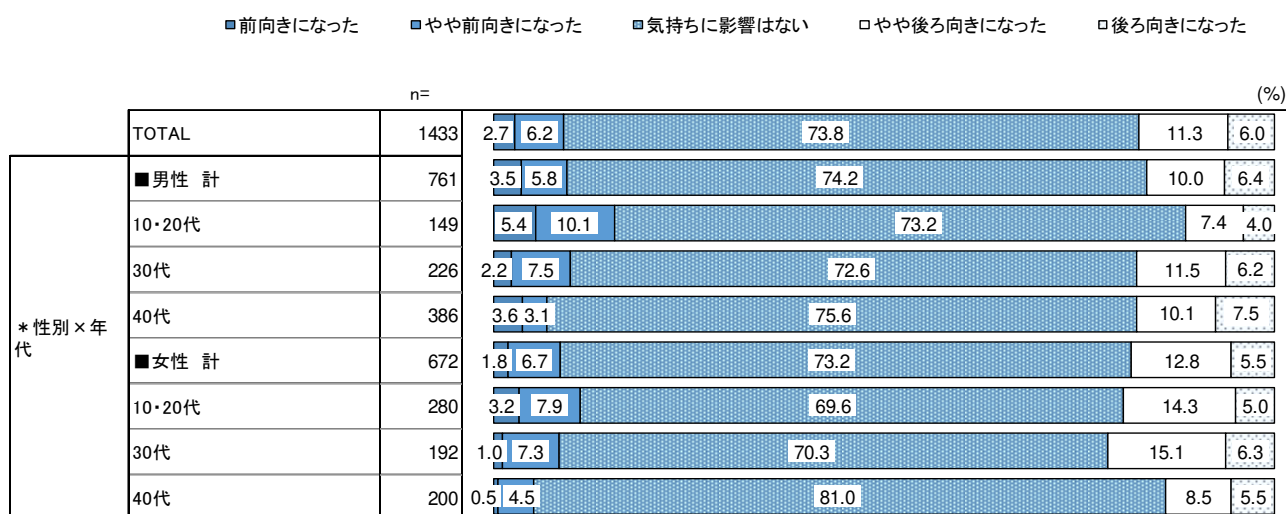


※グラフは「聞いたことがあるもの」の順でソート

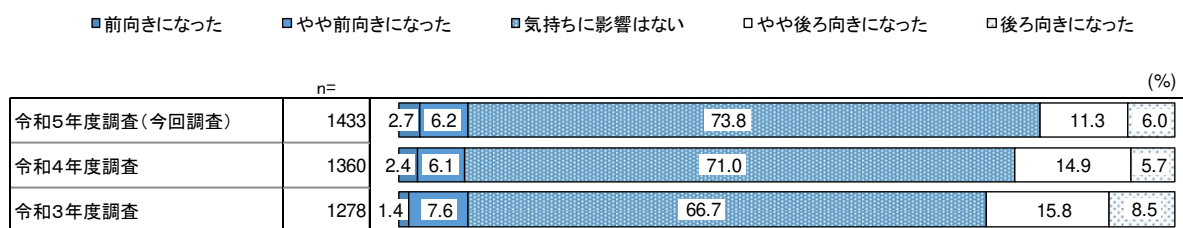
問22 結婚に関する新型コロナウイルス感染症の影響について、あなたのお気持ちに最も近いものをお答えください。(回答は1つ) 【回答者：独身者】

結婚に関する新型コロナウイルス感染症の影響については、「気持ちに影響はない」(73.8%)が高い。一方、「前向きになった」(2.7%)と「やや前向きになった」(6.2%)を合わせると約1割(8.9%)、「やや後ろ向きになった」(11.3%)と「後ろ向きになった」(6.0%)を合わせると2割弱(17.3%)となっている。

性・年代別にみると、男性10・20代は「前向きになった」(5.4%)と「やや前向きになった」(10.1%)を合わせると15.5%とほかの性・年代より高い。一方、女性30代は「やや後ろ向きになった」(15.1%)と「後ろ向きになった」(6.3%)を合わせると約2割(21.4%)となっており、ほかの性・年代より高い。



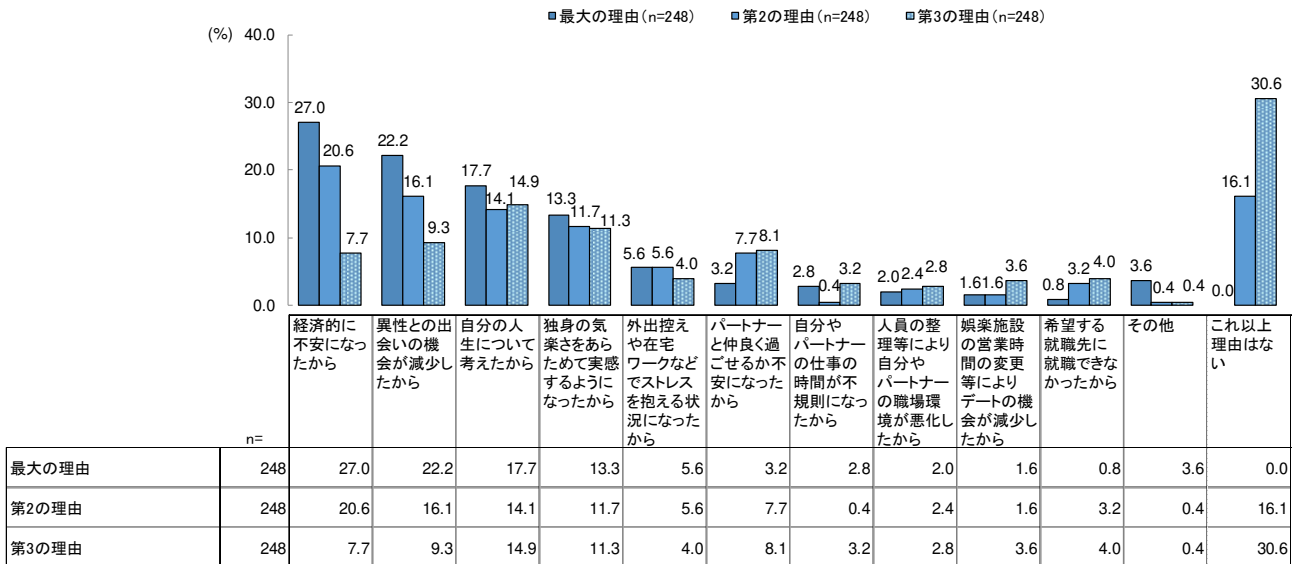
令和3～5年度調査(今回調査)までの経年変化をみると、「やや後ろ向きになった」と「後ろ向きになった」を合わせると減少傾向がみられる。



問23 結婚について、あなたのお気持ちに影響を与えた要因は何ですか。最大の理由、第2の理由、第3の理由をそれぞれお答えください。(回答は1つ) 【回答者：結婚に後ろ向きになった者】

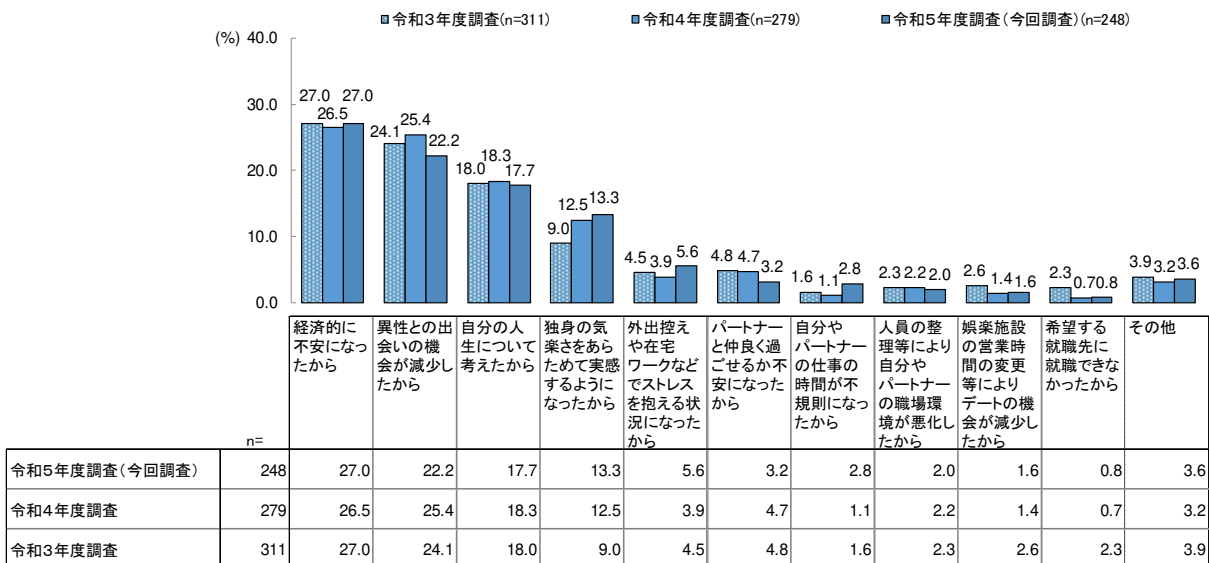
結婚に対する気持ちに影響を与えた最大の理由としては、「経済的に不安になったから」(27.0%)が最も高い。次いで、「異性との出会いの機会が減少したから」(22.2%)、「自分の人生について考えたから」(17.7%)と続く。

第2の理由としては、「経済的に不安になったから」(20.6%)が最も高く、次いで「異性との出会いの機会が減少したから」(16.1%)、「自分の人生について考えたから」(14.1%)となっている。



※グラフは「最大の理由」の順でソート

最大の理由について、令和3～5年度調査(今回調査)までの経年変化をみると、「異性との出会いの機会が減少したから」(令和3年度：24.1%、令和4年度：25.4%、令和5年度：22.2%)はやや減少している。

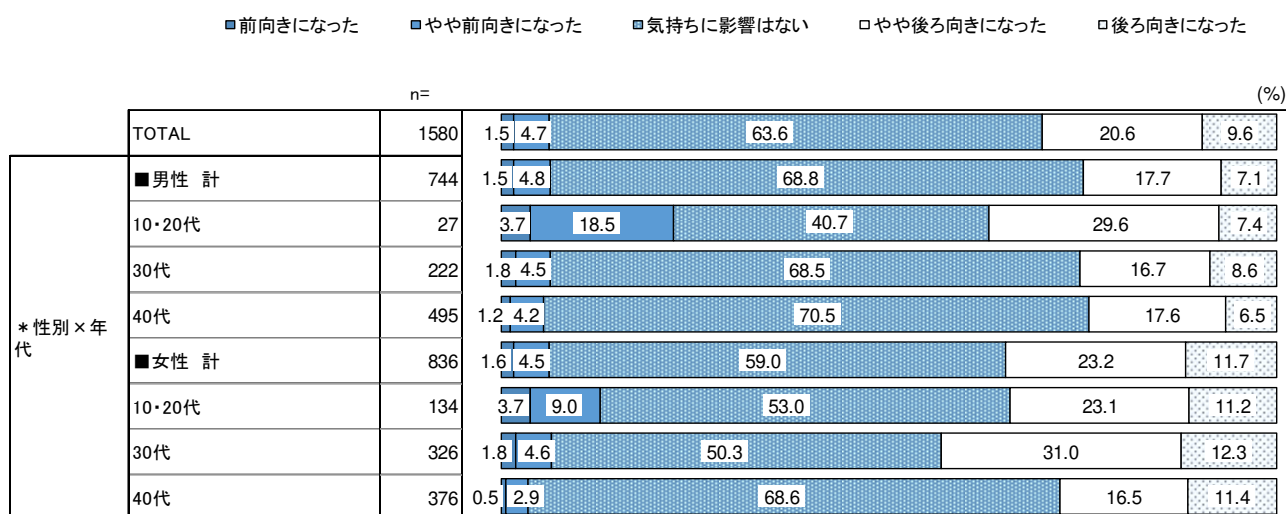


※グラフは今回調査の順でソート

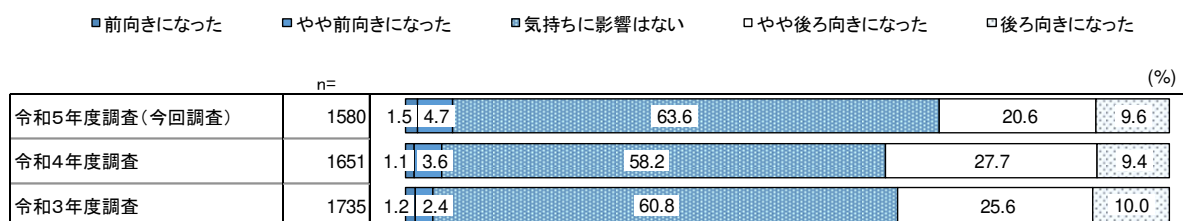
問24 出産に関する新型コロナウイルス感染症の影響について、あなたのお気持ちに最も近いものをお答えください。(回答は1つ) 【回答者：既婚者】

出産に関する新型コロナウイルス感染症の影響については、「気持ちに影響はない」(63.6%)が最も高い。一方、「前向きになった」(1.5%)と「やや前向きになった」(4.7%)を合わせると僅かで(6.2%)、「やや後ろ向きになった」(20.6%)と「後ろ向きになった」(9.6%)を合わせると3割(30.2%)となっている。

性・年代別にみると、女性10・20代は「前向きになった」(3.7%)と「やや前向きになった」(9.0%)を合わせると1割強(12.7%)とほかの性・年代より高い。一方、女性30代は「やや後ろ向きになった」(31.0%)と「後ろ向きになった」(12.3%)を合わせると4割強(43.3%)となっており、ほかの性・年代より高い。



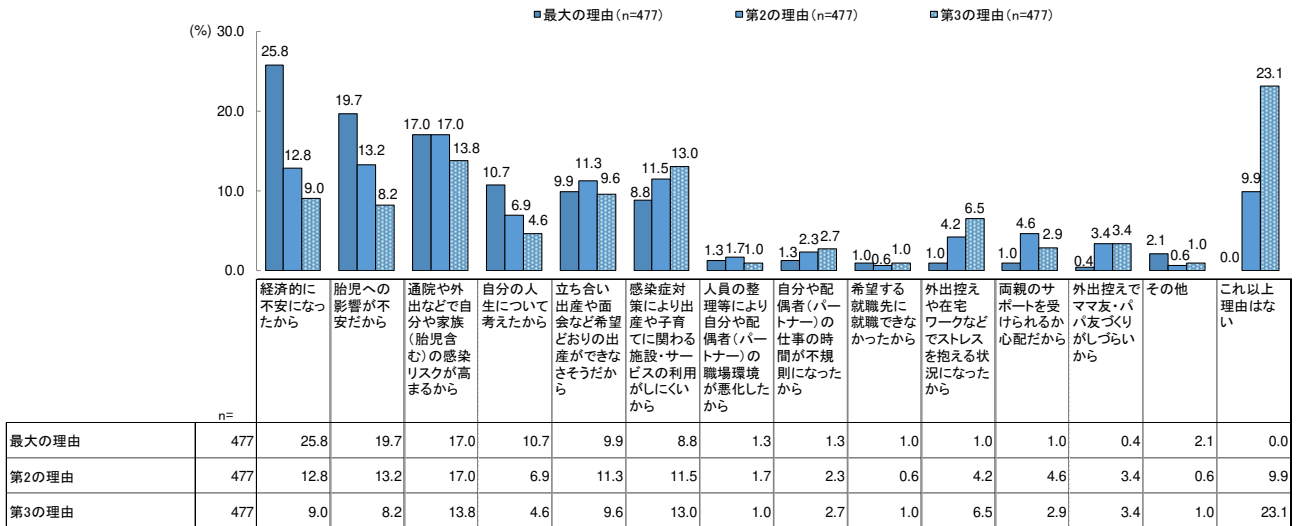
令和3～5年度調査(今回調査)までの経年変化をみると、「やや後ろ向きになった」と「後ろ向きになった」を合わせると、令和3年度(35.6%)、令和4年度(37.1%)よりも令和5年度(30.2%)は低くなっている。



問25 出産について、あなたのお気持ちに影響を与えた要因は何ですか。最大の理由、第2の理由、第3の理由をそれぞれお答えください。(回答は1つ) 【回答者：出産に後ろ向きになった者】

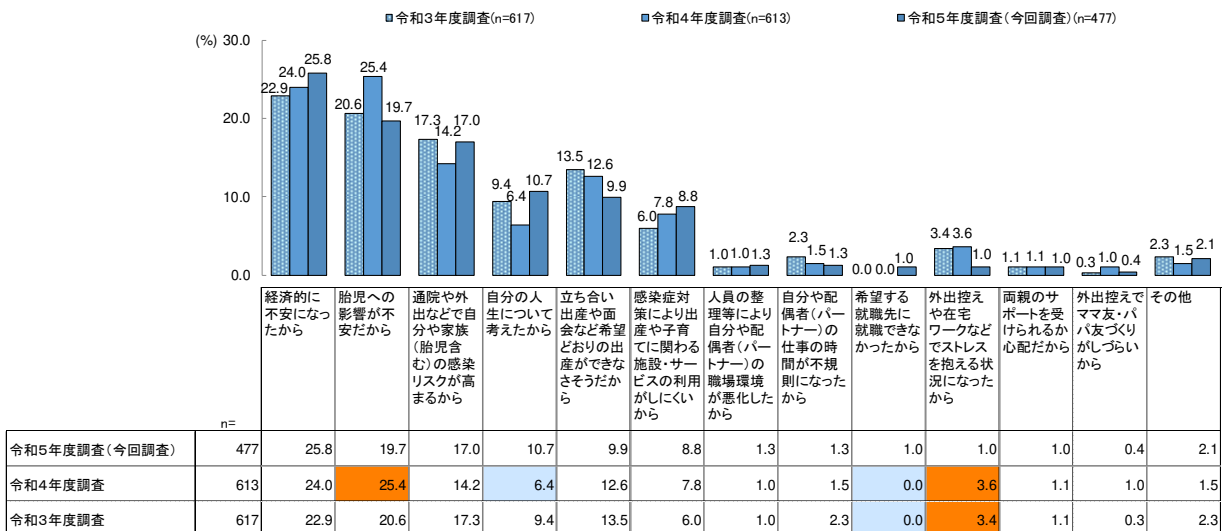
出産に対する気持ちに影響を与えた最大の理由としては、「経済的に不安になったから」(25.8%)が最も高い。次いで、「胎児への影響が不安だから」(19.7%)、「通院や外出などで自分や家族(胎児含む)の感染リスクが高まるから」(17.0%)と続く。

第2の理由としては、「通院や外出などで自分や家族(胎児含む)の感染リスクが高まるから」(17.0%)が最も高い。次いで、「胎児への影響が不安だから」(13.2%)、「経済的に不安になったから」(12.8%)と続く。



※グラフは「最大の理由」の順でソート

最大の理由について、令和3～5年度調査(今回調査)までの経年変化をみると、「経済的に不安になったから」(令和3年度：22.9%、令和4年度：24.0%、令和5年度：25.8%)は、増加傾向がみられる。「胎児への影響が不安だから」(令和4年度：25.4%、令和5年度：19.7%)は令和4年度より減少している。



※グラフは今回調査の順でソート

問26 結婚・子育て・若者支援に関して県への要望などがあれば、ご自由にお書きください。

結婚・子育て支援や若者支援について自由回答で聞いたところ、数多くの回答が寄せられた。本報告書では紙面の都合上すべてを掲載することはできないが、その一部を紹介することとする。掲載にあたっては、代表的・具体的な内容等を、できる限り原文に近い表記で掲載している。

【相談・情報に関すること】

- ・ 近くに相談できる人がいない。（男性 40 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない）
- ・ 気軽に相談できる場所が欲しい。（男性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 子供が成長しても気軽に相談できる所がほしいです。（女性 40 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 形式的ではなく、相手に寄り添ってくれる相談場所が必要。（男性 40 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ どこに相談していいのかわからないことも多いのもっと分かりやすく大々的にどこで、どんなことが相談できるのか知らせて欲しい。（女性 40 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 相談したいことなどをメールでやり取りできるようになると助かります。（女性 10・20 代、独身者・結婚意向なし、子どもはいない）
- ・ 近くに相談できる人がいなくて金銭的に辛くなった場合頼れるところがないので土日祝や夜間で相談できる場所が欲しいです。（女性 30 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない）
- ・ どこに何を相談していいかわからないことが多いので、フローチャートのようなものがあると嬉しい。（女性 10・20 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない）
- ・ 結婚や子育てに前向きになれる支援制度を充実させたり、情報発信をしてほしい。（男性 30 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない）
- ・ 教育費、子育て支援、援助金の情報をどこかで常に発信し申し込みをしやすいようにしてほしい。（女性 10・20 代、既婚者、子どもはいない）
- ・ 支援制度は、こちらが積極的に調べないと知らない事が多いので、今ある支援制度をきちんと情報発信してください。（女性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ どのような支援があり、実際どのように支援を受けるのかわからないため情報が欲しい。（女性 10・20 代、既婚者、子どもはいない）
- ・ 結婚や育児に関する支援金の情報発信に力を入れてほしい。夫婦共に、実家が県外で頼れる場所がない場合の支援や結婚や子育てに関する情報を提供してほしい。（女性 10・20 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない）
- ・ 県内で若い夫婦が結婚、子育てをしている様子などをさまざまなメディアで発信することで、どのような取り組みを県が行い、どのように周知され、実践されているのかという現状を明らかにしてほしい。（男性 10・20 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない）
- ・ 情報発信は足りないと感じる。ポータルサイトの充実と広報が必要。（男性 10・20 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない）

【施設や設備に関すること】

- ・ 保育園に入るための基準が厳しすぎる。（女性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 土日祝営業の保育園。放課後学級の充実。（男性 40 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 小学校の放課後児童預りは月単位の申し込みだが、一日単位で放課後子どもを預けられるサービスが欲しい。（女性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 母親が仕事をしていなくても子どもが保育園に入れるようにしてほしい。（女性 40 代、既婚者、子どもがいる）

- ・ 満1歳から利用できる保育園を増やして欲しい。産休は1年しか貰えないのに満1歳から利用できる保育園が少なすぎる。(女性10・20代、既婚者、子どもがいる)
- ・ 親が仕事以外の用事(通院など)の時に短時間でも気兼ねなく子供を預けられる所があるといい。(女性40代、既婚者、子どもがいる)
- ・ 就労の有無を問う子育て支援(保育園、児童センター等)を誰でも利用出来るようにしてほしい。子どもたちが交流できる場を親の就労の有無で区別しないでほしい。(女性30代、既婚者、子どもがいる)
- ・ 公共交通機関を子連れで利用しにくい。自動車を所有していないので、外出や買い物が困難。(女性30代、既婚者、子どもがいる)
- ・ 子供が安心して安全に遊べたり、学校の登下校ができるような道路や環境整備に力を入れてほしい。とくに学校がある付近の子供が登下校する道路・歩道で、道が狭すぎて車や自転車と接触しないか、危険ではないかと感じることもあるから。(女性40代、独身者・結婚意向なし、子どもはいない)
- ・ 常時使えるこども食堂が町にあると嬉しい。(女性40代、既婚者、子どもがいる)
- ・ もっと子供と親と一緒に趣味を楽しめる場所や施設を増やしてほしい。スケートボード、BMX、MTBとかの複合施設や公園。関東近辺に比べたら圧倒的に少ないと思う。(男性40代、既婚者、子どもがいる)
- ・ 中学生くらいまでの子供が遊べる大きな施設を作って欲しい。(女性40代、既婚者、子どもがいる)
- ・ もっと遊具のある大きい公園が欲しい。(女性30代、独身者・結婚意向なし、子どもがいる)
- ・ 絵本を声を出して読める図書館やその場所で食事出来る施設。(男性40代、既婚者、子どもがいる)
- ・ オムツ交換、授乳施設、遊べる場所が、少なすぎる。(男性30代、既婚者、子どもがいる)

【結婚支援全般に関すること】

- ・ 公的な結婚サポートの機関があると知らなかったため、もっと広くアピールしてほしい。(男性40代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない)
- ・ 市町村主催の婚活イベントをもっと開催してほしい。(女性30代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない)
- ・ 平日休みの人向けの婚活イベントもやってほしい。(女性40代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない)
- ・ 県内企業が増え、地元での出会いも増えることを希望。子どもがいる人だけの支援に偏りを感じる。(女性40代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない)
- ・ もっと県が主催するイベントを増やして欲しい。(男性30代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない)
- ・ 気軽な出会いを設ける場、そして支援制度の充実を求めたい。(男性10・20代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない)
- ・ 独身者で結婚願望がある人への支援に力を入れて欲しい。経済的に断念している人もいるであろうから。(男性30代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない)
- ・ 出会いも大事だから仲良くなり方、コミュニケーションの取り方などを知りたい。(男性10・20代、独身者・結婚意向なし、子どもはいない)
- ・ 障害者雇用で働いてる人でも結婚、子育てできるような補助金を支給して欲しい。(男性30代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない)
- ・ 若者が参加しやすそうな催し物などで出会いの場を作ってもらいたい。(女性10・20代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない)

- ・ 結婚した時に、県または市からのお祝い金があると嬉しい。（女性 10・20 代、既婚者、子どもはいない）

【出産支援全般に関すること】

- ・ 産婦人科がもっと増えたら嬉しい。女医さんであれば、なお嬉しいです。（女性 10・20 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない）
- ・ 産婦人科が近くに無い。（男性 40 代、既婚者、子どもはいない）
- ・ 出産後、1・2 ヶ月のケアを実家や病院以外で安価で受けられる。（女性 40 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 産後ケアを継続的に利用できるようにしてほしい。（現状は一歳までなので）（女性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 男女ともに自分自身の身体について知ることができ、治療が必要な場合早く対処できるので、妊娠、出産を意識する前から検査などを手軽に受けられるような環境にあると良いと思う。（女性 30 代、既婚者、子どもはいない）
- ・ 生まれる前に配偶者への知識（産後うつなど）を学べるようにして、当事者意識を持てるようにしとけば良かったと思う（女性 40 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 2 人目以降の出産の時、上の子がまだ、未満児の場合の産前産後保育をある程度長めに 3 ヶ月以上は全ての市町村で制度化か、取得できるようにしてほしい。（女性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 妊婦健診も完全無料にしてほしい。（女性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 産科・婦人科、共に、しっかりとした医療費補助や、保険適用になるようなサポートがほしい。（女性 30 代、既婚者、子どもはいない）
- ・ 児童手当とは別に、出産祝い金を貰えるのなら次も又産んでもいいのかなと考える。（女性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 出産費用無償化。無痛分娩保険適用。（女性 40 代、独身者・結婚意向なし、子どもはいない）
- ・ 妊活サポートを充実してほしい。（男性 30 代、既婚者、子どもはいない）
- ・ 妊活を行う上で職場のサポートを充実させて欲しい。（女性 30 代、既婚者、子どもはいない）
- ・ 高齢出産への支援など（女性 40 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 不妊治療の補助金が年齢で打ち切られるのは、子供が欲しくても費用負担が大きすぎて、諦めるしかない。補助金の対象年齢を上げて欲しい。（男性 40 代、既婚者、子どもはいない）
- ・ 出生の絶対数を増やすための支援として不妊治療の保険適用、先進医療補助制度の更なる拡充。第三子のいる家庭への支援等。（男性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 不妊治療の保険適用。卵子保存の価格を安くしてほしい。（女性 30 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない）
- ・ 不妊治療。支援センターを無料で利用できる。充実して欲しい。（女性 30 代、既婚者、子どもがいる）

【若者支援全般に関すること】

- ・ 長野県が、全国にある通信制の高校・大学と連携を取るようにしてほしいです。（女性 30 代、独身者・結婚意向なし、子どもはいない）
- ・ 大学、専門学校等の学費軽減もしくは、県外に進学した際の、アパートの補助や紹介。県外に進学した学生でも戻って来やすいように、企業誘致して就職先の確保。（男性 40 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 教育費など、支援についてもっと情報が欲しい。（男性 10・20 代、既婚者、子どもはいない）
- ・ 大学誘致（男性 40 代、既婚者、子どもがいる）

- ・奨学金制度の拡充（男性 40 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない）
- ・新卒に対する就職支援（女性 40 代、既婚者、子どもがいる）
- ・若者の正規雇用・就労や資格取得の支援制度が充実すると良い。（女性 40 代、既婚者、子どもがいる）
- ・過疎が進んでいる中で若者が魅力に感じる企業を融資してほしい。（男性 40 代、既婚者、子どもがいる）
- ・若者が働きたいと思えるお店を増やして下さい。（女性 10・20 代、独身者・結婚意向なし、子どもはいない）
- ・若者の雇用を増やして欲しい。（女性 10・20 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない）
- ・若者支援など知らないまま中途半端な年齢になってしまった。欲しいときに知れるようにしてほしい。（男性 30 代、独身者・結婚意向なし、子どもはいない）
- ・図書館、カフェ等以外のフリースペースが少なすぎる。勉強したくても場所がない。同じように目標に向かって勉強できる人が集まる場所も出会いの場の 1 つなのではないかと思う。（女性 10・20 代、独身者・結婚意向なし、子どもはいない）

【仕事と子育ての両立支援に関すること】

- ・保育園や幼稚園など公共の場を使いやすくするのも一つだが、育休や時短勤務など自分で子育てしたいと思う人が休みを取りやすい、早く帰りやすい職場づくりを県が主導で、率先してやってほしい。（女性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・育休の長期延長。職場復帰しても二人目を産むときにまた休みづらいので、どうせならある程度目処がつくまで休ませてほしい。（女性 40 代、既婚者、子どもがいる）
- ・子育てのため、一旦退職したが、その後、新しく仕事を探すのが大変です。時短や休みを増やす条件を受け入れた企業に特典があるなど、ママが働きやすくなる環境ができたらありがたいです。（女性 40 代、既婚者、子どもがいる）
- ・それぞれの企業の努力次第だとは思いますが、短時間勤務制度をもっと長期間利用できるような支援をして欲しい。（女性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・障害のある子供やその親に対する支援がもっとあると嬉しいです。（障害のある子供を持つ親も、健常児の親と同じように勤務出来るよう、保育園や学童の充実を進めるなど）（女性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・日曜仕事のときがあるので、保育園に預けられるようにしてほしい。短時間保育でも、10 時～17 時、11 時～18 時とか選べるとありがたい。（女性 40 代、既婚者、子どもがいる）
- ・公務員の男性の配偶者休暇などを取りやすい環境にしていきたい。（男性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・雨の日でも予約なしに子供と気軽に遊べる施設が欲しい。兄弟関係があれば下の子は必ず同じ保育園に入園できるようにしてもらいたい。（女性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・保育料が高く、毎月の給料が保育料払うとほとんど無くなる。時短で働かなくては行けないので給料を上げることも難しい。（女性 10・20 代、既婚者、子どもがいる）
- ・子供が具合が悪いなど、急に仕事を休む必要が出たときに、休みやすいよう環境を整えるような取り組みを行ってほしい。（女性 10・20 代、既婚者、子どもはいない）
- ・残業を禁止し、家族で過ごせる時間を増やしてほしい。（男性 40 代、既婚者、子どもがいる）
- ・育休の延長支援（2 年以上）（女性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・パパ育休の取得しやすい環境づくり（男性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・子育てしながらでも、給与が保証されて、働ける環境がもっと広がれば良い。（男性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・産休育休後に、確実に職場に戻れる仕組み。（女性 30 代、既婚者、子どもがいる）

- ・ 共働きできる環境づくり（男性 30 代、独身者・結婚意向なし、子どもはいない）

【子育て支援全般に関すること】

- ・ 保育料の減免（男性 40 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 給食費の無償化（男性 40 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 高校授業料の無償化。世帯年収に関係なく、年収が多くても子供に掛かる費用も多くなるから。（男性 40 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 高校、大学の支援金充実（男性 40 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 多子世帯への支援や金銭的な優遇措置などがもっと欲しい。（男性 40 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 子供が遊べる場所や小児科をもっと増やしてほしい。（女性 40 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 教育費の支援の拡充や、安全な通園通学の整備、また、地域活動の負担減少。（男性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 子供を気軽に一時預かりしてもらえる施設の拡充。 育児に関わることに対しての給付金の支給。 子供広場利用時にかかる駐車料金の全額補助。（女性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ ファミリーサポートを、母子手帳受け取り時に全員事前登録するようにしてほしい。出産後に制度自体を知ったので、出産前の時間があるときに知りたかった。（女性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 子供手当の増額と大学、専門学校等でも貰えるようにしてほしい。（男性 40 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 子どもの医療費の完全無料化、給食費の無償化など市町村によって差のないようにしてほしい。（女性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 親族の支援が受けられない世帯の育児、家事を支援するサービスの拡充 子育てパスポートの優待を多くの子育て世帯が恩恵を受けられる中身の伴った優待にしてほしい。（男性 30 代、既婚者、子どもはいない）
- ・ 幼稚園の 1 号認定の預かり保育をもう少し申し込みやすくしてほしい。（女性 40 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 子育て支援パスポートの協賛店舗検索ページで一覧を PDF ファイルでダウンロードできるようにしてほしい。（男性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ おむつなど育児に必要な物の補助金（またはクーポン）を受け取れるようにしてほしい。（女性 10・20 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 障害をもつ子どもの子育てを共有できるママとの話しの場をもうけて欲しい。 障害をもつ子どもきちんと向き合ってくれる保育園が欲しい。（女性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 奨学金返済に関してもう少し支援があってほしい。（女性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 出産や通院時のために、上の子を一時預かり利用やベビーシッターなどの利用をしやすい環境が整って欲しい。（女性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 病児保育の時間をもっと長くしてほしい。（女性 10・20 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 交通に不便な地域に住んでいる高校生のバスなどの増数や交通費の補助に力をいれてほしいです。（女性 40 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 子育て支援パスポートが使いにくい。単体で使えず、店ごとのポイントカードやクレジットカードでの支払いで、等と制約があり、お得感が全く無い。（女性 10・20 代、既婚者、子どもはいない）
- ・ 多子世帯のプレミアムクーポンのメリットが感じられない。（通常の子育て世帯プレミアムクーポンとの差が無い）（男性 30 代、既婚者、子どもがいる）

【その他】

- ・中学生や高校生の頃から、将来設計について考えるような機会や時間があると良いと思います。(女性 30 代、独身者・結婚意向なし、子どもはいない)
- ・こういう支援は主に女性向けが多い。男性の支援もとても必要だと思います。(男性 30 代、独身者・結婚意向なし、子どもはいない)
- ・発達障がいに対する理解を広めて欲しい。集団が苦手な子どもに対して、学校にかわる居場所を経済的負担なく利用できるような取り組みをして欲しい。(女性 40 代、既婚者、子どもがいる)
- ・不妊の夫婦が子供を実子として育てたい場合の相談機関があるとよい。(女性 40 代、既婚者、子どもはいない)
- ・市町村単位で行っている支援を、県で一括に管理して効率性を上げてほしい。(男性 40 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない)
- ・大人の学び直しの費用を負担してほしい。低収入の仕事は肉体的な負担が多く学ぶ時間の確保が現実的ではない。しっかりした収入が無ければ結婚や子育ては無理だと考えている。(男性 10・20 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない)
- ・保育士の人材確保・育成に力を入れて欲しい。(女性 10・20 代、既婚者、子どもはいない)
- ・母親も、育児で悩んでいると思いますが、父親も育児や家庭生活で悩むことが、多いと思いますので、交流の場が欲しい。(男性 40 代、既婚者、子どもがいる)
- ・育児や教育に関わる方の給料・待遇を上げてあげて欲しい。(女性 30 代、既婚者、子どもがいる)
- ・保育士の処遇改善と人員の確保。(女性 30 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない)
- ・住居環境の支援の充実(男性 10・20 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない)
- ・晩婚や実子に恵まれなかった夫婦が子育てに参加できるように特別養子縁組や里親制度を紹介する公的な支援センターが充実して欲しい。(女性 40 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない)
- ・子供や保護者に優しい社会であっても、受入れる側の保育士の働き方制度や保育士にとっても働きやすい社会を考えてほしい。(女性 40 代、既婚者、子どもがいる)
- ・結婚していても、子供がいない夫婦にも支援がほしい。(女性 30 代、既婚者、子どもはいない)
- ・地域全体で子育てをしてるという感覚が生まれるような体制が欲しい。(女性 40 代、既婚者、子どもがいる)
- ・より良い福利厚生を望みます。男も休日を取りやすい環境。(男性 30 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない)
- ・他県出身でも気軽に参加してみたいと思えるような集まりなどがあるといい。(女性 40 代、既婚者、子どもがいる)

附属資料(調査票)

本調査

長野県民の結婚・出産・子育てに関するアンケート

このアンケートは、以前のアンケートで長野県にお住まいとご回答された方を対象にお送りしています。

このアンケートには、結婚・出産・子育ての状況やお考えをうかがう内容が含まれています。長野県にお住まいの皆様のご意見をおうかがいし、今後の事業に役立てることを目的として行うものです。アンケートの回答はすべて個人が特定できないように処理をしたうえで使用させていただきます。

趣旨をご理解のうえ、ご協力のほど、よろしく願いいたします。

アンケートであなたご自身やあなたのご家族についておうかがいする場合があります。

6月1日時点の状況でお答えください。

共通パート

Q 1 あなたの戸籍上の性別をお答えください。(回答は1つ)

1 男性 2 女性

Q 2 あなたの年齢をお答えください。

歳

Q 3 あなたがお住まいの地域をお答えください。(回答は1つ)

- | | | |
|----|----------------|---|
| 1 | <u>＜佐久地域＞</u> | 小諸市、佐久市、小海町、佐久穂町、川上村、南牧村、南相木村、北相木村、軽井沢町、御代田町、立科町 |
| 2 | <u>＜上小地域＞</u> | 上田市、東御市、長和町、青木村 |
| 3 | <u>＜諏訪地域＞</u> | 岡谷市、諏訪市、茅野市、下諏訪町、富士見町、原村 |
| 4 | <u>＜上伊那地域＞</u> | 伊那市、駒ヶ根市、辰野町、箕輪町、飯島町、南箕輪村、中川村、宮田村 |
| 5 | <u>＜飯伊地域＞</u> | 飯田市、松川町、高森町、阿南町、阿智村、平谷村、根羽村、下條村、売木村、天龍村、泰阜村、喬木村、豊丘村、大鹿村 |
| 6 | <u>＜木曾地域＞</u> | 上松町、南木曾町、木曾町、木祖村、王滝村、大桑村 |
| 7 | <u>＜松本地域＞</u> | 松本市、塩尻市、安曇野市、麻績村、生坂村、山形村、朝日村、筑北村 |
| 8 | <u>＜大北地域＞</u> | 大町市、池田町、松川村、白馬村、小谷村 |
| 9 | <u>＜長野地域＞</u> | 長野市、須坂市、千曲市、坂城町、小布施町、高山村、信濃町、飯綱町、小川村 |
| 10 | <u>＜北信地域＞</u> | 中野市、飯山市、山ノ内町、木島平村、野沢温泉村、栄村 |
| 11 | | この中にはない |

Q 4 あなたの現在の婚姻状況をお答えください。(回答は1つ)

- | | | | |
|---|-------------------|---|-----------|
| 1 | 現在、結婚(事実婚を含む)している | 3 | 結婚したことはない |
| 2 | 結婚していたが、現在は離・死別した | | |

独身者パート <Q4で2、3と回答した人に>

【ここからは「独身の方」に、結婚や現在の生活などについてうかがいます。】

Q5 結婚について、あなたのお気持ちに最も近いものをお答えください。(回答は1つ)

- | | | | |
|---|--------------|---|------------|
| 1 | すでに結婚する予定がある | 4 | いずれは結婚したい |
| 2 | すぐにでも結婚したい | 5 | 結婚するつもりはない |
| 3 | 2・3年以内に結婚したい | 6 | わからない |

Q6 (Q5で1～4と回答した人に)

あなたが結婚を考えたとき、次の中ではどのようなことが気になりますか。(回答はいくつでも)

- | | |
|----|------------------------|
| 1 | お金を自由に使えるか |
| 2 | 職業を自由に選べるか |
| 3 | 仕事(または学業)の時間を自由に取れるか |
| 4 | 余暇や遊びの時間を自由に取れるか |
| 5 | 住む場所が制約されないか |
| 6 | 自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか |
| 7 | ファッションや食べ物などの好み制約されないか |
| 8 | 相手の両親とうまく付き合えるか |
| 9 | 自由な人生設計ができるか |
| 10 | 自分に子育てができるか |
| 11 | 結婚生活を送るために十分な収入が確保できるか |
| 12 | その他 具体的に:() |
| 13 | 特に気になることはない |

Q7 (Q5で2～5と回答した人に)

あなたが現在独身でいる理由は、次の中から選ぶとすればどれですか。最大の理由、第2の理由、第3の理由をそれぞれお答えください。(回答はそれぞれ1つ)

- (1) 最大の理由
- (2) 第2の理由
- (3) 第3の理由

- | | |
|----|------------------------------|
| 1 | 結婚するにはまだ若すぎるから |
| 2 | 結婚する必要性を感じないから |
| 3 | 仕事(または学業)に打ち込みたいから |
| 4 | 仕事(または学業)が忙しく、余裕がないから |
| 5 | 趣味や娯楽を楽しみたいから |
| 6 | 独身の自由さや気楽さを失いたくないから |
| 7 | 適当な相手にまだめぐり会わないから |
| 8 | 異性とうまく付き合えないから |
| 9 | 結婚生活を送るには年収が少ない、または結婚資金が足りない |
| 10 | 結婚生活のための住居のめどがたたないから |
| 11 | 子育てする自信がないから |
| 12 | 親や周囲が結婚に同意しない(だろう)から |
| 13 | 親の面倒を見る(介護をする)必要があるから |
| 14 | 名字を変えたくないから |
| 15 | そもそも結婚願望がないから |
| 16 | 今の生活で充分幸せだから |
| 17 | 家族を養う責任を負いたくないから |
| 18 | その他 具体的に:() |
| 19 | これ以上理由はない |

Q8 (Q7で7と回答した人に)

「適当な相手にまだめぐり会わないから」の具体的な内容のうち、最もあてはまるものを1つお選びください。(回答は1つ)

- 1 そもそも身近に、自分と同世代の未婚者が少ない(いない)ため、出会いの機会がほとんどない
- 2 同世代の未婚者は周囲にいるが、自分が求める条件に見合う相手がいない
- 3 結婚に結びつかないような相手ばかり好きになってしまう
- 4 好きな人はいるが、相手が自分を好きになってくれず、交際に発展しない
- 5 そもそも人を好きになったり、結婚相手として意識することが(ほとんど)ない
- 6 交際に至っても、仕事の都合等で同居の希望がかなわず、結婚することが考えられない
- 7 その他 具体的に:()
- 8 答えたくない

Q9 (Q5で2~4と回答した人に)

あなたは「婚活」としてどのようなことを行っていますか。あるいは今後行いたいですか。(回答はいくつでも)

- 1 友人、職場の同僚や先輩に頼む
- 2 合コンに参加する
- 3 インターネットサイト・SNSを活用する
- 4 婚活パーティーに参加する
- 5 趣味のサークルに入る
- 6 お見合いをする
- 7 民間の結婚相談所に登録する
- 8 市町村や社会福祉協議会などの公的な結婚相談所に登録する
- 9 その他 具体的に:()
- 10 特に行っていない・行う予定はない

Q10 (Q9で10と回答した人に)

婚活を「特に行っていない・行う予定はない」とされた理由は何ですか。あてはまるものをお答えください。(回答はいくつでも)

- 1 忙しくて時間がないから
- 2 自然な流れで出会いたいから
- 3 交際相手がいるから
- 4 面倒だから
- 5 そこまでする必要を感じないから
- 6 具体的に何をすればよいかわからないから
- 7 婚活サービスはどんな人が参加しているかわからないから
- 8 婚活サービスは自分が希望する条件に合う相手が見つかると思えないから
- 9 婚活サービスは個人情報の扱いに不安があるから
- 10 婚活サービスは参加料金が安いから
- 11 婚活サービスは日程が合わないから
- 12 その他 具体的に:()
- 13 答えたくない

既婚者パート <Q4で1と回答した人に>

【ここからは「結婚されている方（事実婚を含む）」にうかがいます。】

【あなた方ご夫婦の結婚までの経過についてうかがいます。】

Q11 あなた方ご夫婦はどのようなきっかけで知り合いましたか。(回答は1つ)

1 学校で	8 結婚相談所で
2 職場や仕事の関係で	9 インターネットサイトやSNSで
3 アルバイトで	10 婚活イベントで
4 幼なじみ、隣人関係	11 地域のイベントで
5 学校以外のサークル活動やクラブ活動、習い事で	12 街なかや旅先で
6 友人やきょうだいを通じて	13 その他 具体的に：()
7 見合いで（親戚や上役などの紹介も含む）	

共通パート

【すべての方にうかがいます。】

Q12 あなたのおつとめの状況をお答えください。結婚されている方（事実婚を含む）は、配偶者（パートナー）についてもお答えください。(回答はそれぞれ1つ)

- (1) あなたご自身
- (2) あなたの配偶者（パートナー）

1 正規の社員・職員	5 無職・家事
2 パート・アルバイト	6 学生
3 派遣・嘱託・契約社員	7 その他 具体的に：()
4 自営業主・家族従業員	

【ここからは、出産や子育てについてうかがいます。】

Q13 お子さんの人数についてうかがいます。以下のそれぞれにあてはまる人数をご記入ください。

※0人の場合は「0」を入力してください。

(1) 現在の子どもの数

 人

※妊娠中の子は含めない

(2) 理想の子どもの数

 人

※出産や子育てのハードルが無いと仮定した場合に欲しい子どもの数（今いる子や妊娠中の子を含む）

(3) 実際に持つつもり（予定）の子どもの数

 人

※今いる子や妊娠中の子を含む

【Q13で、「実際に持つつもり（予定）の子どもの数」が、「理想の子どもの数」より少ない方にうかがいます。】

Q14（Q4で1と回答した人、またはQ5で1～4と回答した人に）

持つつもりの子どもの数が、理想の子どもの数より少ないのはどうしてですか。あてはまる理由をお答えください。（回答はいくつでも）

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1 子育てや教育にお金がかかりすぎるから2 家が狭いから3 自分の仕事（勤めや家業）に差し支えるから4 子どもがのびのび育つ社会環境ではないから5 自分や夫婦の生活を大切にしたいから6 自分または配偶者（パートナー）の年齢的理由から7 これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから8 健康面・体調面の理由から9 家族（パートナー）の家事・育児への協力が得られないから10 家族（パートナー）が望まないから11 自分や配偶者（パートナー）の定年退職までに成人してほしいから12 その他 具体的に：()13 特に理由はない |
|--|

【Q13で、「実際に持つつもり（予定）の子どもの数」が、「理想の子どもの数」より少ない方にうかがいます。】

Q15（Q4で1と回答した人、またはQ5で1～4と回答した人に）

長野県では様々な施策をしていますが、2人、3人と出産し、育てていくためには、今後更にどんなことが必要だと思われますか。（回答はいくつでも）

※長野県の独自施策として、不妊治療について保険診療と併用可能な先進医療への一部助成、兄弟姉妹の同時入所を要件としない第3子以降の保育料の負担軽減などを実施しています。

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1 妊娠・出産に伴う医療費補助の増額2 妊娠・出産に関する医療サービスの向上3 産婦人科の充実4 不妊治療に関する医療機関の充実や助成金の拡充・増額5 幼稚園・保育所などの充実6 3歳未満児保育の費用の軽減・無償化7 満18歳未満の子どもを3人以上扶養している世帯向けの保育料の費用の軽減8 地域や自治体の育児支援サービスの充実9 ベビーシッターや民間の家事・育児支援サービスの利用にかかる費用への補助金の拡充・増額10 大学・短大・専門学校等の教育費の軽減の拡充・増額11 住居費用の補助の拡充・増額12 自身の勤務先の産前産後休業・育児休業制度の充実13 自身の産前産後休業・育児休業取得中の勤務先の所得補償制度の充実14 自身の勤務先の育児短縮勤務制度の充実15 配偶者（パートナー）の家事・子育てへの協力16 自分または配偶者（パートナー）の親の家事・子育てへの協力17 配偶者（パートナー）の勤務先の産前産後休業・育児休業制度の充実18 配偶者（パートナー）の産前産後休業・育児休業取得中の勤務先の所得補償制度の充実19 配偶者（パートナー）の勤務先の育児短縮勤務制度の充実20 職場の理解21 長時間労働の是正22 その他 具体的に：()23 特にない |
|---|

【Q13で、「理想の子どもの数」が0人と回答した方にうかがいます。】

Q16 (Q4で1と回答した人、またはQ5で1～4と回答した人に)

子どもを希望しない理由、子どもを持たないかもしれないと思う理由は何ですか。(回答はいくつでも)

- | | |
|----|---------------------------|
| 1 | 子育てができる自信がないから |
| 2 | 責任が重いとを感じるから |
| 3 | 子育てや教育にお金がかかりそうだから |
| 4 | 保育サービスが充実していそうにないから |
| 5 | 自分や夫婦の生活を大切にしたいから |
| 6 | 自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから |
| 7 | 職場の協力や理解が得られそうにないから |
| 8 | 子どもがいる生活が想像できないから |
| 9 | 自分または配偶者(パートナー)が子どもが苦手だから |
| 10 | 配偶者(パートナー)が子どもを望まないから |
| 11 | 家が狭いから |
| 12 | 子どもがのびのび育つ社会環境ではないから |
| 13 | 自分または配偶者(パートナー)の年齢的理由から |
| 14 | 健康面・体調面の理由から |
| 15 | 育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから |
| 16 | 家庭の家事・育児への協力が得られそうにないから |
| 17 | 親の介護が心配だから |
| 18 | その他 具体的に：() |
| 19 | 特に理由はない |

【お子さんをお持ちのすべての方にうかがいます。】

Q17 お子さんが3歳になるまでの間、あなたや配偶者(パートナー)のご両親と同居していましたか。

(回答はそれぞれ1つ)

※3歳になるまでの間で、もっともあてはまる状況についてお答えください。

※お子さんが複数いる方は、一番下のお子さんの時のことをお答えください。また、お子さんが3歳未満の場合には、現在の状況についてお答えください。

	同居	別居(近居)	別居(近居以外)	いなかった	わからない
あなたの父親	1	2	3	4	5
あなたの母親	1	2	3	4	5
配偶者(パートナー)の父親	1	2	3	4	5
配偶者(パートナー)の母親	1	2	3	4	5

※「近居」は徒歩で30分程度の距離とお考えください。

Q18 (Q17 で1～3 と回答した人に)

お子さんが3歳になるまでの間、あなたや配偶者（パートナー）のご両親からの子育ての手助けはありましたか。もっともあてはまる状況についてお答えください。（回答はそれぞれ1つ）

※3歳になるまでの間で、もっともあてはまる状況についてお答えください。

※お子さんが複数いる方は、一番下のお子さんの時のことをお答えください。また、お子さんが3歳未満の場合には、現在の状況についてお答えください。

	ほとんど なかった	ときどき あった	ひんぱんに あった	日常的に あった
あなたの父親	1	2	3	4
あなたの母親	1	2	3	4
配偶者（パートナー）の父親	1	2	3	4
配偶者（パートナー）の母親	1	2	3	4

Q19 お子さんが3歳になるまでの間、以下の制度や施設を利用しましたか。あてはまる状況についてお答えください。（回答はいくつでも）

※3歳になるまでの間で、もっともあてはまる状況についてお答えください。

※お子さんが複数いる方は、一番下のお子さんの時のことをお答えください。また、お子さんが3歳未満の場合には、現在までの状況についてお答えください。

- | |
|---|
| 1 産前・産後休業制度
2 育児休業制度（男親）
3 育児休業制度（女親）
4 短時間勤務制度（男親）
5 短時間勤務制度（女親）
6 保育園（認可保育所）
7 認証・認定保育施設（自治体が認証・認定した施設）
8 認定こども園（保育施設と幼稚園が一体化した施設）
9 企業内保育所
10 認可外保育施設
11 ベビーシッター
12 ファミリー・サポート・センター
13 保育園・幼稚園などの一時預かり
14 地域子育て支援センター
15 幼稚園の未就園児親子登園
16 その他の保育施設・サービス
17 どれも利用しなかった |
|---|

Q20 幼稚園や保育園を利用することなく家庭内で未就学児の子育てをするときに、どんな支援があるとよい（あるとよかった）と思うかお答えください。（回答はいくつでも）

- | |
|---|
| 1 事前に予約していなくても子どもを預かってもらえる支援
2 理由を問わずに子どもを預かってもらえる支援
3 自宅でも子どもの世話をしてもらえる支援
4 短時間でも子どもを預かってもらえる支援
5 家事を代わりに行ってもらえる支援
6 自宅に居ながら気軽に相談できる支援（自宅訪問型等）
7 子育てについて気軽に相談できる身近な場所
8 子どもを安心して遊ばせることができる施設
9 その他 具体的に：()
10 特にない |
|---|

【すべての方にうかがいます。】

Q21 次の結婚・子育て支援や若者支援の取組のうち、あなたが聞いたことがあるもの、内容も含めて知っているものはどれですか。(回答はそれぞれいくつでも)

- (1) 聞いたことがあるもの
- (2) 内容も含めて知っているもの

1 長野県婚活支援センター	12 チャイルドライン
2 結婚・出産・子育て応援サイト「チアフルながの」	13 児童相談所虐待対応ダイヤル 189
3 長野県妊活支援サイト「妊活ながの」	14 家庭の日 (毎月第3日曜日)
4 ながの結婚マッチングシステム 「NAGANO ai MATCH」	15 いい育児の日 (11月19日)
5 ながの結婚応援パスポート「enn pass (エンパス)」	16 WE ラブ赤ちゃんプロジェクト
6 ながの子育て家庭優待パスポート	17 プレコンセプションケア
7 職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度	18 幼児教育・保育の無償化
8 ながのパパ手帳	19 こころの健康相談統一ダイヤル
9 第3子以降の保育料の負担軽減	20 よりそいホットライン
10 信州やまほいく (信州型自然保育)	21 ゲートキーパー
11 信州こどもカフェ	22 あてはまるものはない

Q22 (Q4で2、3と回答した人に)

結婚に関する新型コロナウイルス感染症の影響について、あなたのお気持ちに最も近いものをお答えください。(回答は1つ)

1 前向きになった	4 やや後ろ向きになった
2 やや前向きになった	5 後ろ向きになった
3 気持ちに影響はない	

Q23 (Q22で4、5と回答した人に)

結婚について、あなたのお気持ちに影響を与えた要因は何ですか。最大の理由、第2の理由、第3の理由をそれぞれお答えください。(回答はそれぞれ1つ)

- (1) 最大の理由
- (2) 第2の理由
- (3) 第3の理由

1 異性との出会いの機会が減少したから
2 娯楽施設の営業時間の変更等によりデートの機会が減少したから
3 希望する就職先に就職できなかったから
4 経済的に不安になったから
5 人員の整理等により自分やパートナーの職場環境が悪化したから
6 自分やパートナーの仕事の時間が不規則になったから
7 独身の気楽さをあらためて実感するようになったから
8 パートナーと仲良く過ごせるか不安になったから
9 外出控えや在宅ワークなどでストレスを抱える状況になったから
10 自分の人生について考えたから
11 その他 具体的に：()
12 これ以上理由はない

Q24 (Q4で1と回答した人に)

出産に関する新型コロナウイルス感染症の影響について、あなたのお気持ちに最も近いものをお答えください。(回答は1つ)

1 前向きになった	4 やや後ろ向きになった
2 やや前向きになった	5 後ろ向きになった
3 気持ちに影響はない	

Q25 (Q24で4、5と回答した人に)

出産について、あなたのお気持ちに影響を与えた要因は何ですか。最大の理由、第2の理由、第3の理由をそれぞれお答えください。(回答はそれぞれ1つ)

- (1) 最大の理由
- (2) 第2の理由
- (3) 第3の理由

1 希望する就職先に就職できなかったから
2 経済的に不安になったから
3 人員の整理等により自分や配偶者(パートナー)の職場環境が悪化したから
4 自分や配偶者(パートナー)の仕事の時間が不規則になったから
5 胎児への影響が不安だから
6 通院や外出などで自分や家族(胎児含む)の感染リスクが高まるから
7 立ち合い出産や面会など希望どおりの出産ができなさそうだから
8 感染症対策により出産や子育てに関わる施設・サービスの利用がしにくいから
9 外出控えや在宅ワークなどでストレスを抱える状況になったから
10 両親のサポートを受けられるか心配だから
11 外出控えでママ友・パパ友づくりがしづらいから
12 自分の人生について考えたから
13 その他 具体的に:()
14 これ以上理由はない

Q26 結婚・子育て・若者支援に関して県への要望などがあれば、ご自由にお書きください。

※日頃の生活を通じて導入して欲しい、更に充実して欲しい、あるいは、力を入れて欲しい制度や取組など(例:近くに相談できる人がいない、公共機関を子連れで利用しにくい、教育費に関する支援制度をもっと情報発信して欲しい など)

※特にない方は、「特になし」とご入力ください。

自由記述

長野県民の結婚・出産・子育てに関する意識調査報告書

令和5年8月

調査機関：株式会社インテージリサーチ

発行：長野県将来世代応援県民会議

〒380-8570 長野市大字南長野字幅下692-2

電話 026-235-7207 (直通) fax 026-235-7087

ホームページアドレス <http://nagano-kosodate.net/>

メールアドレス shoushika@pref.nagano.lg.jp